

# DISCLOSURE 2024

AMAGASAKI SHINKIN BANK

— 尼崎信用金庫の現況 —



# 質の高い金融サービスの提供と 積極的な地域貢献活動で 「地域のベストバンク」をめざします

## 経営の基本方針

金融機関本来の使命の達成に邁進し、金庫の繁栄、職員の幸福、地域社会への貢献を通じてわが国経済の発展に寄与する。

- 尼崎信用金庫は、地域の発展と皆様の豊かな暮らしを願って、質の高い金融サービスをお届けし、「地域のベストバンク」をめざします。
- 尼崎信用金庫は、お客様の声を経営に反映し、健全経営を堅持します。
- 尼崎信用金庫は、積極的に社会貢献活動を行います。
- 尼崎信用金庫は、職員一人ひとりの人格を尊重し、働きがいのある職場とゆとりのある生活を実現します。

## 情報開示

### コミュニケーション

本誌はステークホルダーの皆さまに尼崎信用金庫の業績や事業内容、地域の持続的な発展に向けた取り組み等について分かりやすくお伝えすることを目的としています。

「ディスクロージャー誌(資料編含む)」のご案内

財務状況等のより詳細な情報を掲載した「ディスクロージャー誌(資料編含む)」は当金庫ホームページに掲載しています。



<https://www.amashin.co.jp/guidance/disclosure.html>



## Contents

本誌は信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料の計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

経営の基本方針	01	あましのサステナビリティ	
Top Message	02	地域経済の活性化と持続的発展	22
あましの価値創造		魅力ある地域社会づくりへの貢献	23
あましの「これから」	07	環境保全の持続的な取り組み	25
1年間の活躍	09	TCFD提言への取り組み	26
業績ハイライト	12	人的資本の充実	27
地域密着型金融の推進	15	あましの経営体制	
非財務ハイライト	19	コンプライアンス推進体制	31
		リスク管理高度化の取り組み	33
		業務継続体制	35
		開かれた総代会をめざして	37
		組織体制	39

# ごあいさつ

理事長 作田誠司



皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は尼崎信用金庫に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。本年も、尼崎信用金庫についてのご理解を一層深めていただくため、ディスクロージャー誌「尼崎信用金庫の現況2024」を作成いたしました。ぜひ、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

昨年度のが国経済は、新型コロナウイルスの感染症上の位置付けが5類に移行したことを受け、社会・経済活動の正常化に向けた動きが本格化しました。国内消費やインバウンド需要も回復するなど緩やかに持ち直しの動きが継続し、新たな成長軌道に乗ることが期待されたものの、急激な円安による原材料・エネルギーコスト増、深刻化する人手不足の影響など、景気は先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境のもと、当金庫は地域・お取引先・職員という金庫のステークホルダーと「ともに成長する」あましんをめざし、お取引先の本業支援・伴走支援をはじめ、地域の持続的発展に貢献できる取り組みを実践してまいりました。

その結果、一般企業の営業利益にあたる業務純益は48億円、経常利益は45億円、当期純利益は35億円となりました。自己資本比率は15.95%と国内基準(4%)を大きく上回り、引き続き高い健全性を維持することができております。

2024年度は、「すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供するあましん」をビジョンに掲げる3か年事業計画の最終年度となります。役職員一人ひとりが自らの役割・使命をしっかりと認識し、地域・お取引先とのコミュニケーションを大切にしながら、一緒になって持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでまいります。

今後とも、皆さまのより一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 地域に、お取引先に、 金庫職員に。 喜びと感動を提供する 金融機関へ。

理事長 作田誠司

## ——3カ年計画の最終年度にあたり、さらに改革を加速する

「すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供するあましん」をビジョンに掲げて取り組んできた3カ年事業計画が、いよいよ最終年度に入りました。この計画は、2021年に創業100周年を迎えた当金庫が次の100年に向けて「第2の創業」という覚悟と意気込みのもとで、新たな挑戦の一步を踏み出すために策定したものです。

当金庫は、1921年、地元の中小企業者や住民が会員となって互いに助け合い、発展していくという相互扶助の理念のもと、地域との共存共栄をめざす協同組織金融機関として発足しました。地域やお客さまと同じ目線で課題に取り組み、地域社会とともに成長していくという理念、創業の志は、いささかも揺るぐことはありません。しかし一方では、サステナビリティ、デジタル化、ダイバーシティ&インクルージョンなど、取り組むべき課題は時代とともに変化しています。私どもは地域の発展と成長を使命とする金融機関として、これらの新しい課題に遅れることなく、むしろその変化を先取りして新たな提案に結びつけるような、闊達で力強い体制を築き上げて



📖 あましの「これから」P07-08

いかなければなりません。私が理事長に就任して4期8年の間、そのための改革を  
 不断に積み重ねてまいりました。3か年事業計画は、いわばその総仕上げです。

地域、お客さま、そして当金庫職員というステークホルダーの期待に応え、「ともに  
 成長する」という意気込みを持って、さらにもう一段ギアを上げて最終年度を駆け  
 抜けていきたいと思っています。

## ——職員の成長を促し、地域とお取引先に還元する新人事制度

さまざまな業務改革の取り組みの中でも、とりわけ大きな柱として重視してきたのが  
 人事制度改革です。私は、理事長に就任する以前、支店長や総合企画部長を務めている  
 頃から、みんながもっといきいきと働ける職場環境をつくるにはどうしたらいいかと考え  
 続けてきました。その意味では、人事制度改革は私のライフワークのようなものです。

新たな人事制度を立案するにあたっては、役員ヒアリングや職員アンケートを通  
 して、現行の人事制度の特徴や課題を洗い出し、一般企業や信金業界の先進的事  
 例も参考にしながら検討を進めてきました。その過程で強く印象に残ったのは、将来  
 の目標や進むべき方向性に対する熱い思いと、もっと成長したいという意欲を、多く  
 の職員がしっかりと持っているということでした。世代論では「最近の若者は冒険し  
 ない」「がむしゃらさに欠ける」などと言われることがありますが、この間の我われの  
 取り組みから見えたことに照らしてみれば、それは必ずしも正しくはありません。  
 若い人たちの意欲を汲み取れていなかっただけではないか、と思うのです。新人事制  
 度では、新たな等級制度と複線型キャリアコースを導入し、全ての職員が多様な  
 キャリアへ意欲的に挑戦できる環境を提供しています。また、性別・年齢を問わず、職員  
 がパフォーマンスを最大限に発揮し、それが適切に評価される仕組みを整えました。

こうした人事の話は、ともすれば内向きな印象を与えるかもしれませんが、しかし、  
 新人事制度のもとで職員の成長が加速すれば、地域やお客さまに対して、これまで  
 以上に付加価値の高いご提案ができるようになります。長年にわたり培ってきた  
 〈あましん〉のビジネスモデル、地域貢献活動とコンサルティング機能の発揮の2本  
 柱が、より太く、強く、育っていくものと考えています。

## ——点から線へ、さらに面へ、サステナビリティ経営を推進

持続可能な経済社会の実現に向けて、SDGs、ESG、GXへの取り組みが強く求めら  
 れています。当金庫では、「あましん緑のプロジェクト」を立ち上げ、2010年から兵庫県  
 の「尼崎21世紀の森づくり」に参画するほか、2011年には環境改善に寄与する地域  
 の皆さまの優れた技術や製品、取り組みなどを表彰する「あましんグリーンプレミア  
 ム」を創設するなど、さまざまな環境活動に積極的に取り組んできました。また、環境  
 に配慮した融資やお取引先の環境経営・脱炭素化支援を推進するなど、環境と社会



📖 人的資本の充実 P27-30

### SDGs

#### (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択され、「持続可能な開発のための2030アジェン  
 ダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。  
 17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave  
 no one behind)」ことを誓っています。

### ESG

Environment (環境)・Social (社会)・Governance (ガバナンス・運営/統治)の  
 頭文字を取った言葉。サステナビリティ経営における3つの要素とESGは共通して  
 いますが、こちらは国連が提唱した投資の際の判断基準としての3つの要素を意  
 味します。企業に環境や社会への配慮が求められるようになり、企業を選ぶ基準や  
 企業の成長度合いを見極める要素としてESGは重視されるようになっていきます。

### GX

グリーントランスフォーメーションの略。化石燃料をできるだけ使わず、  
 クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のことをいいます。



📖 あましんのサステナビリティ  
 P21-26

への取り組みに関しては一定の実績があると自負しています。現在は、その蓄積をお取引先の新たな成長のきっかけや地域社会の課題解決へと結びつけていくことに注力しています。いわば点を線に、さらに面へと展開していくことです。

中小企業経営者の皆さまの中には、サプライチェーンの中で取引先から環境対応を強く求められている方も多いと思いますし、ご自身の思いとしても持続可能な社会の実現への貢献を志している方もたくさんいらっしゃいます。そうした、いわば潜在的なニーズに対して具体的な形をご提案することは、当金庫の重要な役割だと認識しています。自治体や支援機関との連携を強化し、技術開発や新事業創出、販路拡大、ブランディング強化など、多面的な支援に取り組んでまいります。

また、神戸大学経済経営研究所との共同研究で、事業性評価にESGの要素を取り入れる手法を開発し、ケーススタディを積み重ねています。もともと当金庫は事業性融資の割合が高く、特定の業種に偏らないバランスの取れたポートフォリオが特徴です。お取引先には、環境視点で新たな成長のきっかけを発見していただけるのではないかと考えています。

### — デジタル人材の育成を通して、あましんらしいDXを

デジタル化の推進も、今期の大きなテーマの1つです。

当金庫では、職員一人ひとりのITリテラシーを高めるとともに、収益性の向上やビジネスモデルの変革に向けたチャネル改革、業務革新、デジタル化などを戦略的に推進しています。それは、既存業務の効率化だけが目的ではありません。お客さまにとっては利便性の向上につながり、当金庫にとっては人員と時間に余裕をもたらします。この余裕を、お客さまとのコミュニケーションの強化に振り向けること、それによってビジネスに“深み”をもたらすこと、そのような変容＝トランスフォーメーションこそが、「あましんらしいDX」なのではないかと考えています。

また、当金庫の中にデジタル人材が育ってくることで、お客さまの事業の効率化や生産性向上に向けた効果的な提案ができるようにもなります。営業店の渉外担当者だけでなく、本部に設けたDX戦略部には専門知識を備えたスタッフもいます。営業店と本部が一体となってお取引先の事業に正面から向き合っていくのが、あましんの企業文化です。このような“あましんらしさ”を存分に発揮して、地域のDXのために、大いに貢献していきたいと思っています。

#### サプライチェーン

原材料の調達から製造、在庫管理、物流、販売、消費までの一連の流れを指します。

#### 事業性評価融資

財務データや保証・担保にとらわれず、企業訪問や経営相談等を通じて情報を収集し、事業の実態や将来性、成長可能性など事業の価値を総合的に評価した融資を指します。

#### デジタル人材

デジタル技術を活用して業務効率化や新たな価値創造を行うことができる人材です。

#### ITリテラシー

通信・ネットワーク・セキュリティなど、情報通信技術 (IT) にひも付く要素を理解する能力、操作・活用する能力です。

#### 「あましんらしい」DXの実現へ

- お取引先へのサービス・サポート
- 非対面チャネルの充実
- デジタルサービス利用による業務効率化
- デジタル人材の育成

デジタル技術の革新により、異業種からの金融サービスへの参入など、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、当金庫は「あましんらしいDXの実現」をめざして、2024年4月に総合企画部からDX戦略グループを独立させ、DX戦略部として新設しました。金庫の業務効率化だけでなく、お取引先との対話を通じて事務面の効率化や生産性向上につながるデジタル化へのきっかけをつくり、地域の中小企業のさらなる成長をサポートしてまいります。

## ——地域のメインバンクとして、新しい歴史をつくっていく

新人事制度のもとで職員の成長を促し、地域の中で当金庫の存在感をひととき大きくする。GX、DXなどの新しいテーマに積極的に取り組みながら、付加価値の高い提案活動を推進して営業力を高め、金融機関の基礎体力ともいべき収益力を強化する。3ヵ年計画の最終年度である今期の取り組みを要約すれば、このようなことになるかと思えます。こうした活動を前に進める根底的なマインド、それを私は「地域に対する本気度」と言っています。

以前、まだ私が役員になる前に尼崎市で催されたある会合に出席したときのことです。その場には、地方銀行やメガバンクの尼崎支店の方なども来られて、さまざまな議論が交わされていたのですが、その中で私の思いと他の皆さんの考えにズレがあるように感じてしまったのです。他の皆さんは、ビジネスの話をしてられる。業績や成果に結びつけるための議論をしてられる。お互いにビジネスマンなのですから、それが当たり前なのです。けれども私は「この街を活性化するために何ができるのか考えましょう」ということばかりを言い続けていました。なぜだろうと後から考えたときに、入庫して以来、諸先輩の薫陶を受けて地域に本気で関わることの大切さを学び、それが無意識のうちに「地域に対する本気度」として私自身の血肉になっているのだということに思い当たりました。お取引先が発展すれば地域はさらに豊かになり、それを目の当たりにした私たち自身も喜びと達成感を得ることができます。この循環が100年続いている。これはもう「あましんのDNA」と言っているのではないのでしょうか。

地域と、お取引先と、当金庫職員が、深いコミュニケーションを通じて有機的に結合し、高め合い、成長と発展のプロセスを共有していく、それこそが、地域のメインバンクとしてのあましんの不朽不滅の原点であり、また、未来像でもあります。ステークホルダーの皆さまとともに、新しい歴史を築いてまいりたいと強く願っています。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

### DX

Digital Transformationの略で、「デジタル革新」や「デジタル変革」という意味の言葉です。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争力の優位性を確立することをいいます。



地域密着型金融の推進  
P15-18

### あましんのDNA

長きにわたって共有され、受け継がれる地域への思い(価値観、信念、行動規範の体系)のことです。経営の基盤であり、地域社会との信頼関係を築く礎となっています。

「地域に対する本気度」を貫き、  
成長と発展のプロセスを共有していきたい。



# あましんの「これから」

あましんは、地域やお取引先の新たな価値を創造することで、持続可能な社会の実現、地域活性化に努めています。

## あましんの経営資源・基盤

### 財務資本

- 健全な財務・収益基盤
- 充実した自己資本
- 健全な貸出資産
- 高度なリスク管理

### 人的資本

- 多様な人材
- 長い歴史と経験で培った高い専門性とノウハウ

### 社会関係資本

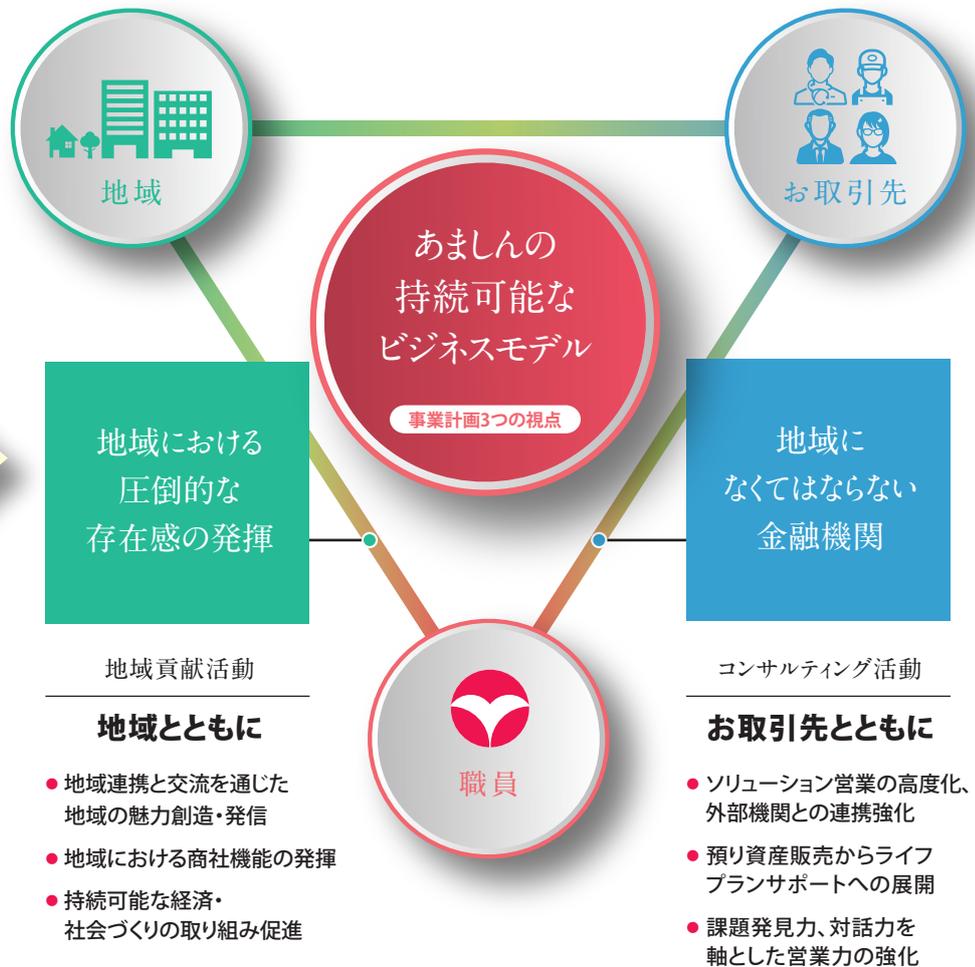
- お客さまとの豊富な接点
- 地域に密着した店舗ネットワーク
- 高い取引シェア

### 知的資本

- 地域社会に貢献する姿勢と実践
- 事業性評価を通じた多様なソリューションの提供
- グループ全体の総合力

顧客基盤、人材、  
財務基盤、営業基盤

## あましんのビジネスモデル・事業活動



コンサルティング機能の発揮と地域貢献活動を起点とした「あましの持続可能なビジネスモデル」に、新たな時代に求められる地域金融機関としての取り組みを加え、すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供し、「ともに成長」することをめざしています。

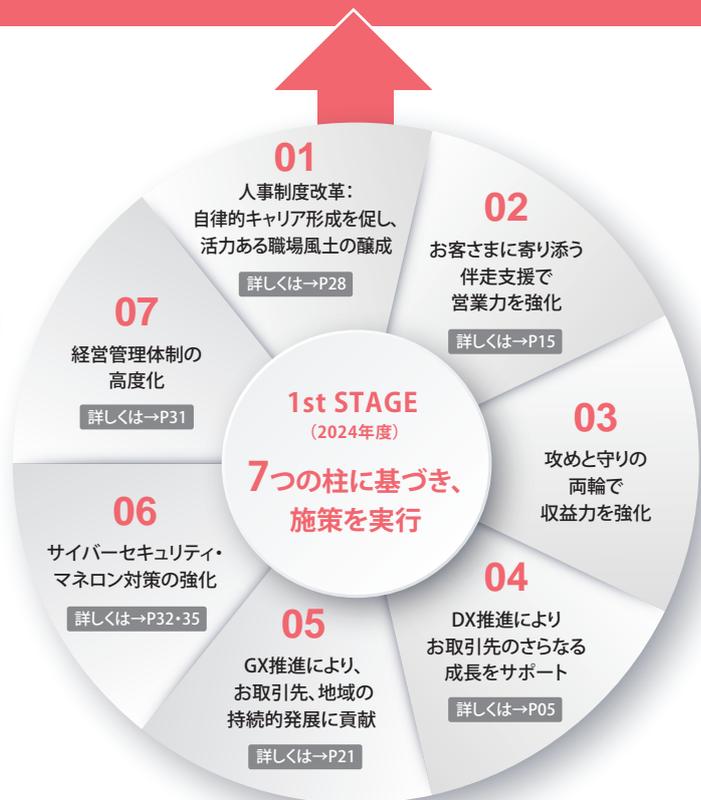
## ともに成長

めざす姿実現のために

あましのめざす姿

### [長期ビジョンの実現へ]

- 強化** あましの総合力をアップし、地域におけるプレゼンス力を強化する
- 改革** 収益性・生産性・効率性を飛躍的に改善する
- 確立** 職員満足度の向上とチャレンジできる企業文化を確立する



すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供する  
〈あましん〉



経営課題の解決、企業価値の向上  
安定的な資産形成



地域経済の持続的発展  
脱炭素などの環境保全



能力を最大限に発揮でき、働きがいのある職場  
多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを実現



# The Past Year's Efforts

あましんの1年間の取り組みをお伝えします。

当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的発展、魅力ある地域社会づくり、環境保全の永続的な取り組みなど、地域社会の発展を常に考えた事業活動に取り組んでいます。



神戸大学とESGの  
共同研究成果発表・  
シンポジウムを開催

「有料職業紹介事業」の  
許可取得

4月

2023

信金初  
「海外ビジネス支援パッケージ」への参画

海外展開に取り組む中小企業・小規模事業者への支援を強化するため、日本政策金融公庫、中小企業基盤整備機構、日本貿易保険が構築した「海外ビジネス支援パッケージ」に信用金庫で初めて参画しました。

ポリテクセンター2支部と  
連携協定締結

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部および兵庫支部の職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）と「産業人材育成等に関する連携協定」を締結しました。



「あまちゃん・しんちゃん  
子ども食堂」オープン

5月

6月



あまがさき産業フェア2023

7月

環境省「ESG地域  
金融促進事業」への採択

環境省が実施する令和5年度「ESG地域金融促進事業」の支援先機関として2年連続で採択されました。



あましん リ・バース60  
(住宅融資保険付)の  
取扱開始

住宅ローン情報サイト  
「スゴ速」との  
サービス連携開始

8月

金融機関初  
JTBと「越境EC」に関する  
連携開始

地域ならではの地場産品や特産品など日本の魅力を集めた越境EC支援サービス「47storey」に関して、金融機関で初めて株式会社JTBと連携しました。





事業者向けポータルサイト  
「あましんビジネスポータル」の  
取扱開始



芦屋市内3カ店が兵庫県芦屋警察署と  
「特殊詐欺等の犯罪被害の防止に  
関する連携協定」を締結



尾浜支店新築オープン

新店舗は、エネルギー消費を削減し環  
境負荷を減らす省エネルギー性能に  
優れた建築物として建築物省エネ  
ルギー性能表示制度 (BELS) の最高ラン  
ク5つ星の評価を受け、「ZEB Ready (ゼ  
ブレディ)」認証を取得しています。

第13回「あましんグリーンプレミアム」  
授賞式を開催



伊丹市内7カ店で  
フードドライブを実施



金融教育プログラムの  
受講生8,000人突破

地域の未来を担う児童・生徒たちに「金  
融の知識やお金の大切さ」を学んでも  
らおうと実施している金融教育プロ  
グラムの受講生が8,000人を超えました。

補助金・助成金自動診断サービス  
「Jシステム」の取扱開始



南海電鉄×あましん  
海外IT (CAD) 人材紹介サービス  
「Japal」の業務提携開始

IT人材輩出新興国であるネパールに着目した  
人材紹介支援ワンストップサービス「Japal」を  
提供する南海電気鉄道株式会社と信用金庫  
で初めて業務提携を開始しました。

〈あましん〉のSNS

当金庫の取り組みや地域情報など、皆さまのお役に立つ情報を  
タイムリーに発信していますので、ぜひご覧ください。

Facebook▶



Instagram▶



# あましんの「いま」

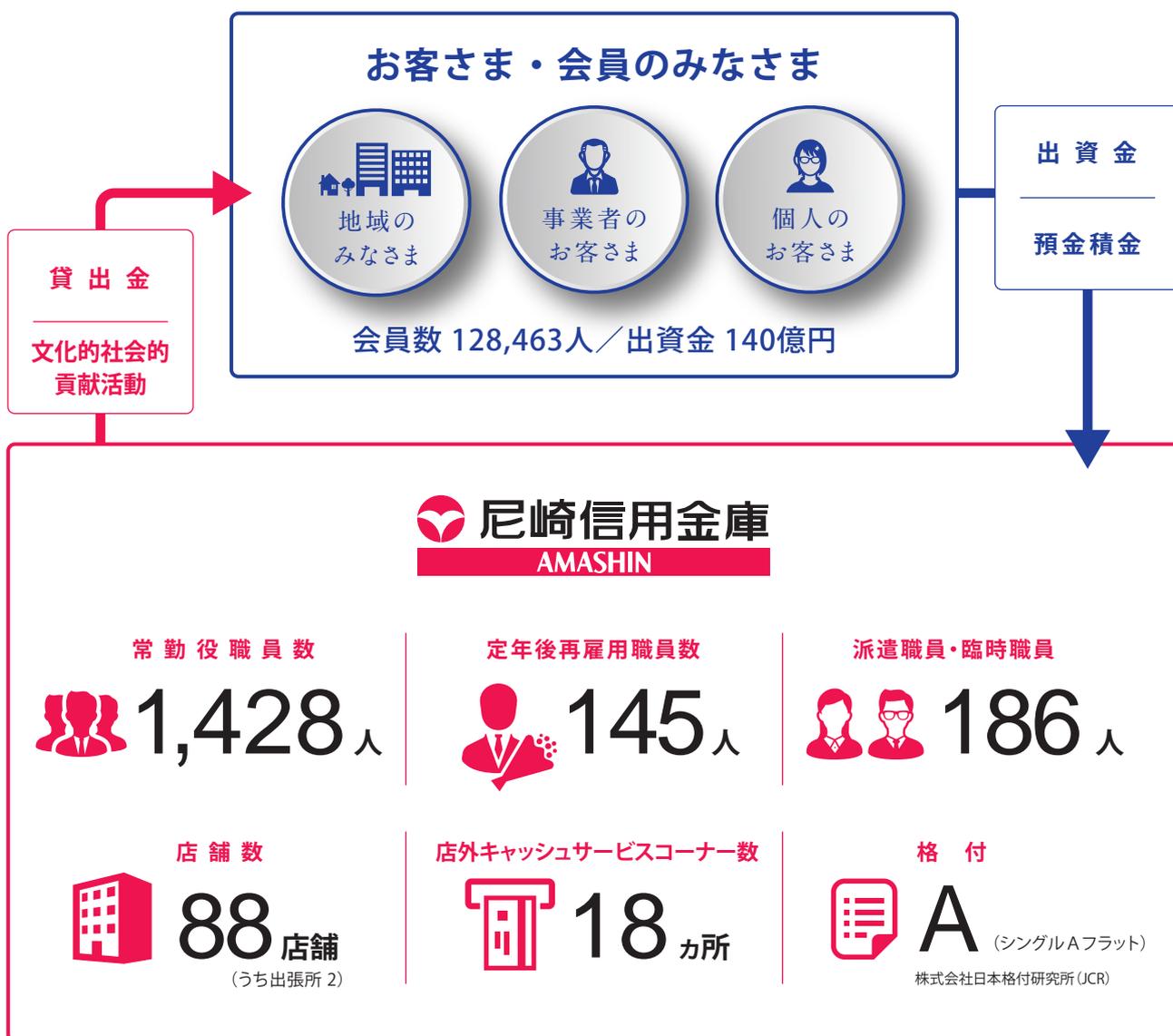
金融サービスの提供を通じて、これからも地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

## 地域との共存共栄が〈あましん〉の使命です

当金庫は阪神間を中心とする40市4町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となってお互いに助け合い、お互いに発展していくことを目的とする相互扶助の理念のもと「地域との共存共栄」をめざして運営されている協同組織金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金は地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や豊かな暮らしのお手伝いをしています。

今後も当金庫は金融サービスの提供を通じて地域経済の持続的な発展に努めていくことはもちろん、地域住民の一員として地域貢献活動に取り組み、環境・安全・教育・文化といった幅広い分野で地域の活性化に貢献してまいります。

### 持続可能な社会の実現 地域活性化



(2024年3月31日現在)

## 2023年度の業績ハイライト

業務純益

48 億円

経常利益

45 億円

当期純利益

35 億円

### ■ 損益状況

金融機関を取り巻く収益環境が厳しい中、業務純益48億円、経常利益45億円、当期純利益35億円を計上しました。

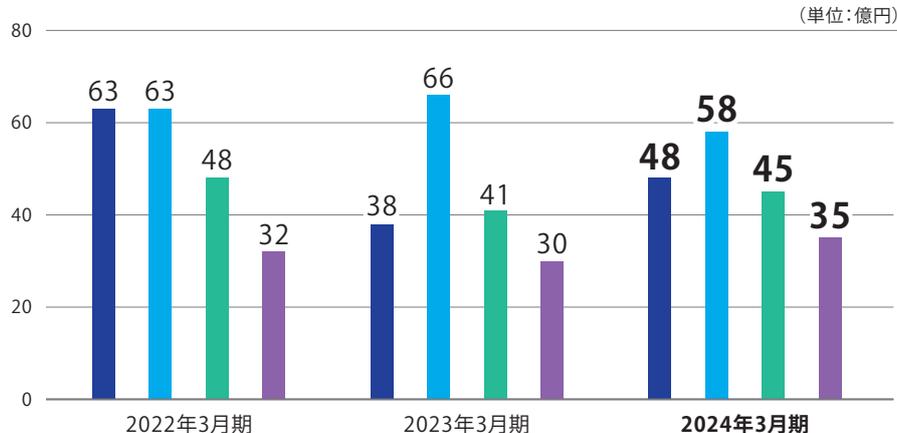
また、金融機関としての本来的な収益力を示すコア業務純益は、58億円と安定した収益基盤を維持しております。

当金庫は、これからも地域・お客さまの持続的発展や課題解決に貢献し、ともに成長できる好循環の実現に努めてまいります。

### ■ 事業の状況を示す指標

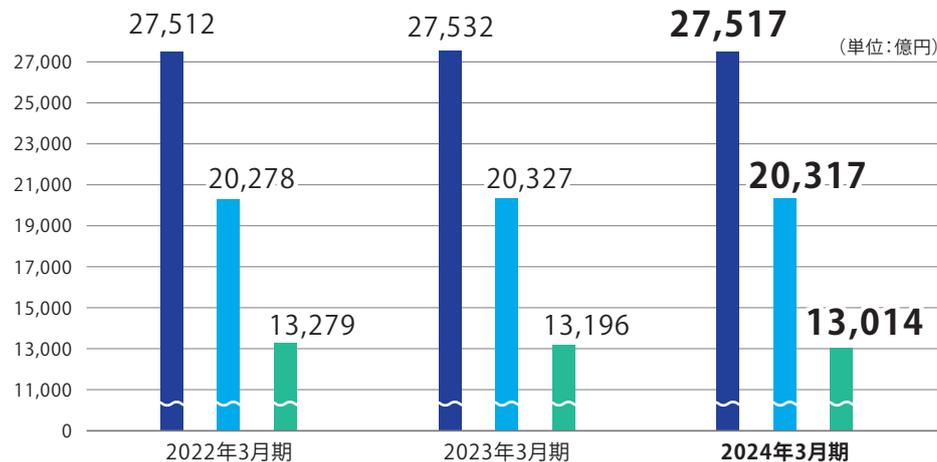
業務純益・コア業務純益・  
経常利益・当期純利益  
の推移

■ 業務純益  
■ コア業務純益  
■ 経常利益  
■ 当期純利益



預金積金残高・  
個人預金残高・  
貸出金残高の推移

■ 預金積金残高  
■ 個人預金残高  
■ 貸出金残高

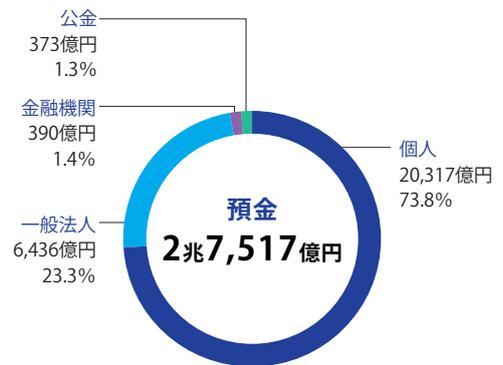


預金積金

預金積金残高は、お客さまのニーズに的確かつタイムリーにお応えする各種商品を揃え、ライフプランに応じたサービスの提供に努めた結果、期末残高は2兆7,517億円となりました。総預金に占める個人預金の割合は73.8%となりました。

また、「がんばれ阪神タイガース定期預金」は総残高で2,420億円のお預入をいただきました。

■ 預金の預金者別内訳

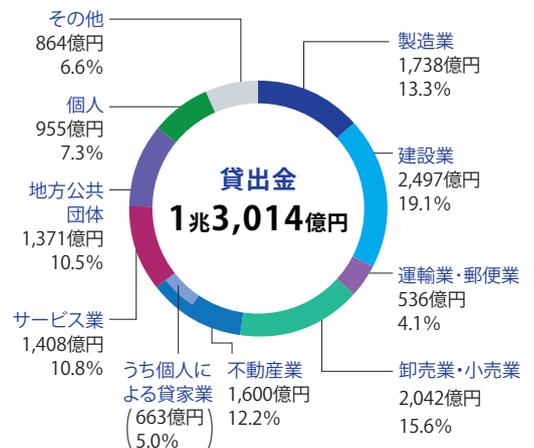


貸出金

貸出金残高は、お取引先の経営課題やニーズを的確に把握し、対話を通じた伴走支援に積極的に取り組みました。

また、小口先数主義を徹底し、事業性評価による金融仲介機能の発揮に努めました。その結果、期末残高は1兆3,014億円となりました。

■ 貸出金の業種別残高内訳



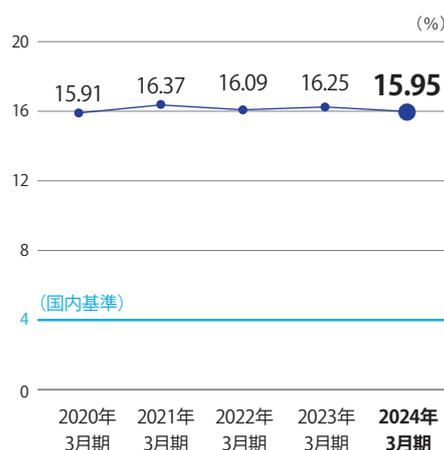
自己資本比率

(国内基準・単体)の状況

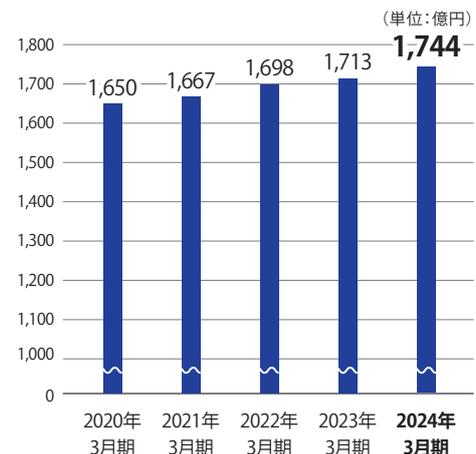
当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客さまに対する金融仲介機能の積極的な発揮に努めるとともに、有価証券運用では中長期的な観点に立って期待リターンの高い国際分散投資を着実に進め、経営の健全性維持と収益力の向上の両立をめざしています。

2023年度は、貸出について、コロナ関連の制度融資の返済が本格化する一方、制度融資以外の事業性貸出が増加したほか、有価証券運用についても、収益確保に向け国内事業債や株式投信等への投資を増やしたため、貸出、有価証券ともにリスクアセットが増加しました。その結果、自己資本比率は、15.95%と前期末対比で幾分低下しましたが、引き続き国内基準(4%)を大きく上回り、高い健全性を維持しております。

■ 自己資本比率(単体)の推移



■ 自己資本額(単体)の推移



信用金庫法開示債権  
及び  
金融再生法開示債権  
の保全・引当状況

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権における不良債権残高は、国内外の不安定な情勢、資源価格の高騰などを受け全国的に倒産事故が増加するなか、コロナ後の回復状況や将来の不確実性を踏まえて保守的に債務者区分を判定した結果、2023年3月末に比べて19億円増加しました。また、不良債権比率は5.80%と前期末より0.22ポイント上昇しました。これまで同様、不良債権に対する適正な引当を行い、厚い内部留保とあわせて万全の備えをしています。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:億円)

区 分	2022年度	2023年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	60	69
危険債権	678	687
要管理債権	5	5
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	5	5
小 計(A)	743	762
保全額(B)	688	713
個別貸倒引当金(C)	53	43
一般貸倒引当金(D)	0	0
担保・保証等(E)	635	670
保全率(B) / (A) (%)	92.6%	93.6%
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E)) (%)	49.4%	47.3%
正常債権(F)	12,571	12,365
総与信残高(A) + (F)	13,315	13,127
不良債権比率(A) / (A) + (F) (%)	5.58%	5.80%

金融再生法ベースによる不良債権比率と残高推移

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

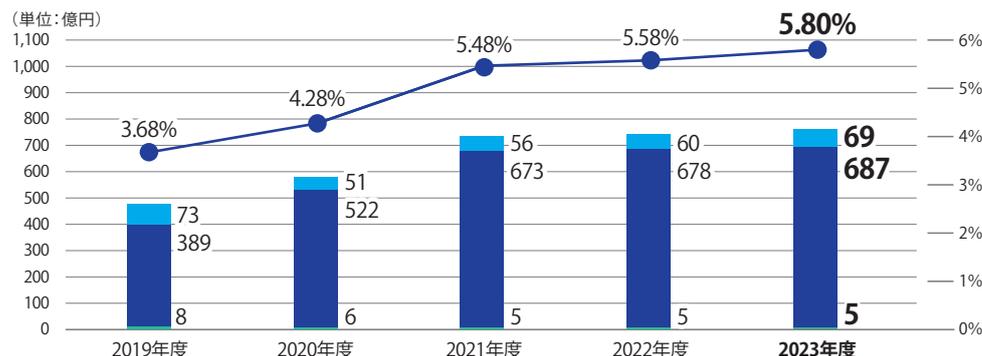
破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金。



あましん



地域社会

## あましんが 地域と一緒に、 できたこと。

What Amashin has accomplished,  
working with the community.

金融機関には、お客さまの大切な資産をお預かりし、資金や金融サービスを企業や個人のお客さまに提供することで、社会・経済の健全な発展を支える役割があります。当金庫では、地域のお客さまへのご融資を通じて、地域経済の持続的発展に努めています。

## 法人のお客さま

当金庫は、中小企業専門の金融機関として「日本を支える中小企業」の事業経営・成長をサポートすることにより、地域経済の持続的発展・活性化に貢献しています。

## コンサルティング活動

当金庫は、お取引先へのコンサルティング活動を通じて“お客さまから選ばれる金融機関”をめざしています。日々の会話から得られるあらゆる情報を営業店と本部で共有し、関連・グループ会社や専門機関と連携してお取引先企業のライフステージにあわせたコンサルティングと最適なソリューションの提供を追求しています。また、目利き力を高め、担保や保証に過度に依存しない事業性評価に基づいた融資に積極的に取り組んでいます。



### 企業のライフステージにあわせたコンサルティング



### ライフステージ別の経営支援体制(全与信先17,628先、融資残高合計8,721億円)

ライフステージの区分

- 創業期：創業、第二創業から5年まで
- 成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超
- 安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%
- 転換期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満および貸付条件の変更または延滞がある期間  
(融資残高は2024年3月末)

2024年3月末時点で、当金庫をメインバンクとしてお取引いただいている企業(8,543先・融資残高5,724億円)のうち、経営指標の改善が見られた先は6,198先、経営改善先に係る融資残高(年度末)の推移は、2022年は3,415億円、2023年は4,126億円、2024年は4,301億円となっています。また、事業性評価先数は7,653先・融資残高5,497億円で全融資先・残高に占める割合は、先数43.4%・残高63.0%となりました。



## スタートアップ支援



創業相談会を定期開催するほか、起業・創業イベントやビジネスプランコンテストなどへの参画、事業の将来性や成長性を適切に評価する「創業支援融資」「あましん創業・成長サポートファンド」などの資金面でのサポートに積極的に取り組んでいます。2023年度に当金庫が関わった創業・第二創業支援件数は1,171件となりました。

※設立5年未満の企業への融資、創業融資の取組件数、創業塾参加者数などの合計

## 海外ビジネス支援

海外での駐在経験者や外国為替の担当者など、専門知識を持った職員が支店担当者とともに信金中央金庫や海外の銀行をはじめとする提携企業と連携して、お取引先企業の海外ビジネスをトータルでサポートしています。信用状(L/C)取引や海外への送金、海外からの送金受取りなど、貿易(輸出・輸入)取引もお手伝いしています。



## 経営改善・事業再生支援



お取引先の経営改善・事業再生支援については、価値創造事業部を中心に営業店と本部が一体となって事業の早期再生をお手伝いしています。経営に関するアドバイスをはじめ、各種セミナー・相談会の開催、外部専門機関への橋渡しなどを行っています。当金庫が経営改善を支援している先は、2024年3月末時点で1,378先となっています。

## 事業承継・M&A支援

お取引先が抱える多種多様な相続ニーズにお応えし、価値創造事業部の専門スタッフが営業店や外部専門機関等と連携して課題の解決に取り組んでいます。事業承継支援セミナーや個別相談会の開催、税理士資格を持つ職員による自社株の概算株価試算、M & Aの仲介サポートなどスムーズな事業承継のお手伝いをしています。



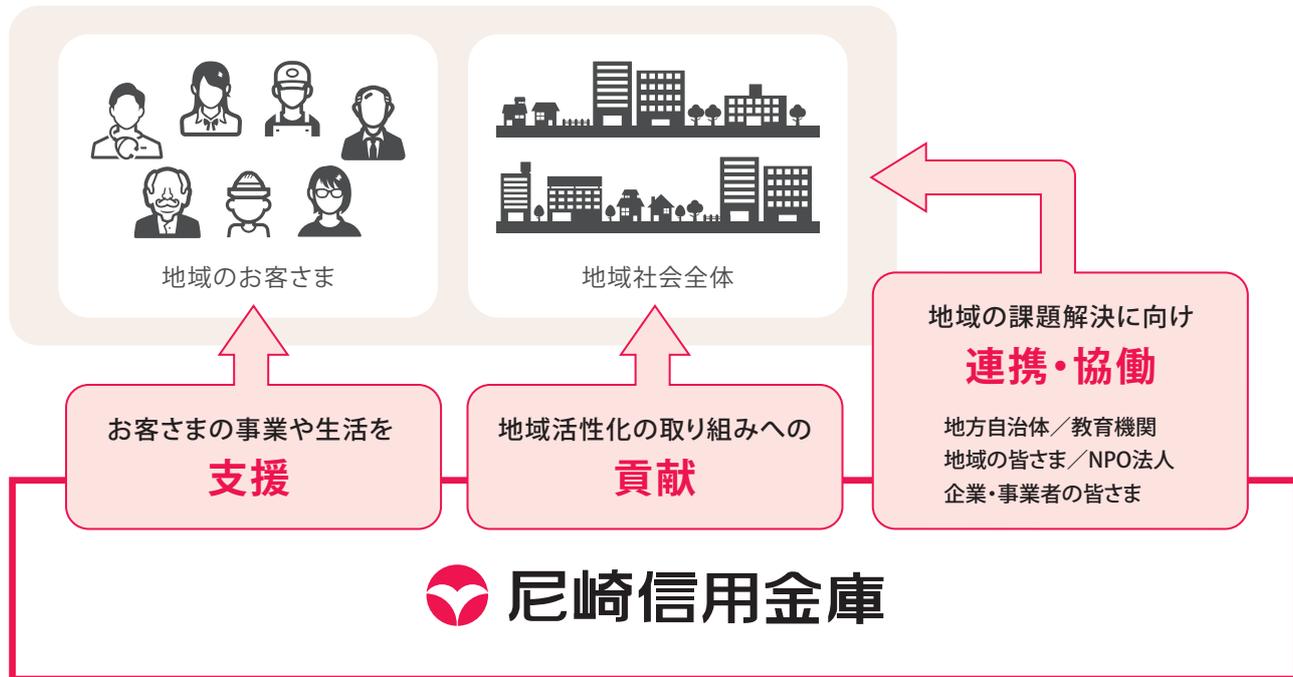
## 経営者保証に関する ガイドラインへの取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を踏まえて策定した「経営者保証に関する取組方針」に基づき、ご融資における個人保証の必要性を、お客さまとの対話を通じて十分に検討し適切に対応しています。2023年度に当金庫が新規に無保証で融資をした件数は10,658件、新規融資に占める割合は43.93%、保証契約を解除した件数は264件となっています。

※「経営者保証に関する取組方針」の詳細は、資料編P.4をご覧ください。

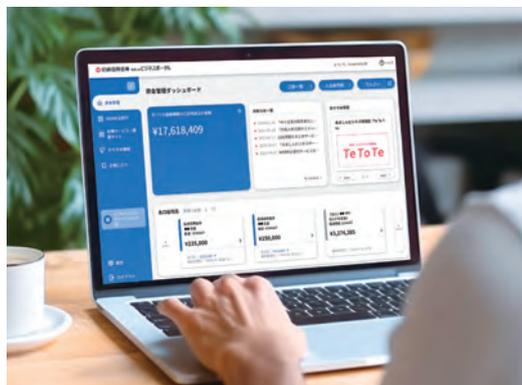
## 地域の経済発展を支援

当金庫は「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的発展に努めています。



## あましんビジネスポータル

法人・個人事業主のお客さまの経理業務の効率化などにお役立ていただける「あましんビジネスポータル」。本サービスでは、複数の金融機関の取引状況（残高や入出金の推移など）を視覚的にわかりやすくグラフ化して表示する機能や、ご来店不要で各種お手続きを可能とする機能、お客さまごとに最適な商品・サービスの情報が受け取れる機能などをWEB上でご利用いただけます。当金庫のWEBサービスの起点として、ぜひご利用ください。



## ビジネス情報誌「TeToTe」

地域経済の活性化をめざすビジネス情報誌「TeToTe」。  
〈あましん〉だからこそできる「人」「まち」「仕事」をタイムリーに取り上げ、地域の皆さまとの懸け橋となるよう情報発信に取り組んでいます。

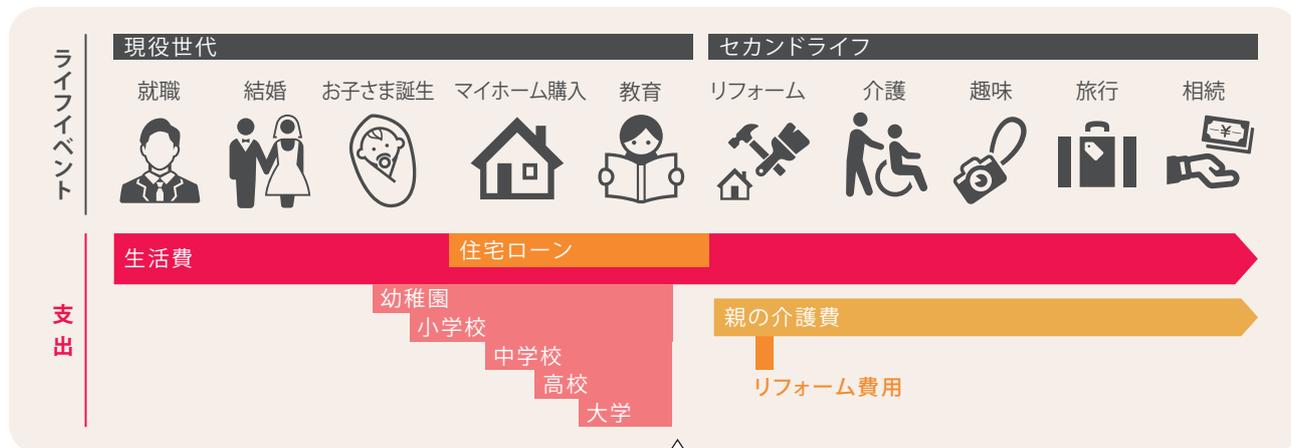


◀「TeToTe」は、当金庫のホームページからご覧いただけます。



## 個人のお客さま

当金庫は、個人のお客さまのライフスタイルや資産状況・ニーズに応じて最適なアドバイスを行い、将来設計（ライフプラン）実現をサポートします。



ライフステージに応じた商品で、ライフプラン実現をサポートします

定期預金

投資信託

生命保険

信託商品

住宅ローン

教育ローン

フリーローン

カードローン



## 多様化するニーズに最適な提案をめざして

当金庫は個人のお客さまのライフプランに応じた最適なソリューションを提供することで、人生100年時代におけるお客さまの豊かな暮らしをサポートします。2023年4月より身近なコンサルティング担当者としてタイプ別の渉外係を配置し、一人ひとりのお客さまに寄り添い、幅広い金融サービスの提供を通じて、お客さまの資産を守る、活かす、育てるお手伝いをしています。



## 各種セミナー、年金相談会などを開催

当金庫では、お客さまの多様なニーズにお応えするため、資産運用・相続などに関するセミナーを開催しています。

また、各営業店では定期的に年金相談会（予約制・無料）を開催しています。相談会では、専門のスタッフが年金の受給資格や請求手続きなどについてのご相談にお答えしています。年金相談会については、お気軽に本支店窓口までお問い合わせください。

# Pre-financial information

あましんの非財務ハイライトについてご紹介します。



(E) CO<sub>2</sub>排出量<sup>※1</sup>

2,623 t  
(前年度対比15.7%削減)



(E) ガス使用量に係る  
CO<sub>2</sub>排出量<sup>※1</sup>

151 t  
(前年度対比0.6%増加)

(E) 電気使用量に係る  
CO<sub>2</sub>排出量<sup>※1</sup>

2,472 t  
(前年度対比16.6%削減)

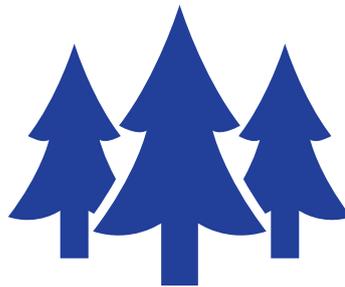


(S) 地域貢献活動<sup>※2</sup>



尼崎市わがまちクリーン運動  
延べ参加人数

758人



尼崎21世紀の森 除草・間伐活動  
延べ参加人数

398人

(S) 次世代への金融教育<sup>※2</sup>  
(おかね寺子屋、  
金融経済教育セミナーの実施)

9校

966人

開始から2024年3月31日まで 100校

8,247人



(S) 有給休暇平均取得日数<sup>※2</sup>

12.3日

(S) 平均勤続年数<sup>※2</sup>

14.4年



**E**…Environment (環境)    **S**…Social (社会)    **G**…Governance (ガバナンス)

**S** 兵庫県メインバンク調査  
(株式会社帝国データバンク 2023年12月公表)

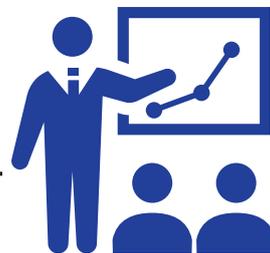


阪神南地区シェア1位

34.25%

阪神北地区シェア1位

25.26%



**G** コンプライアンス  
関連研修  
延べ受講人数<sup>※2</sup>

1,850人

**S** 女性労働者比率  
(2024年3月末時点)

49.0%  
(789人)

**S** 女性役席者  
(代理・係長)数・比率<sup>※</sup>  
(2024年3月末時点)

74人  
(27.0%)



※役席者(代理、係長)における  
女性役席者の割合

**G** SCO (シニアコンプライアンスオフィサー)  
合格者 (2024年3月末時点)

444人

**G** ACO  
(アシスタントコンプライアンスオフィサー)  
合格者 (2024年3月末時点)

580人

**S** 年代別職員数・比率  
(臨時職員含む)  
(2024年3月末時点)

20代の職員 403人  
(28.1%)

40代の職員 260人  
(18.1%)

30代の職員 291人  
(20.3%)

50代の職員 317人  
(22.1%)

60代の職員 159人  
(11.1%)

**S** 格付

A

A (シングルAフラット)  
株式会社日本格付研究所(JCR)  
(2023年11月9日取得)

**S** 永年勤続表彰者数<sup>※2</sup>

30年

20年

31人 30人



※1…2022年度実績数字 ※2…2023年度実績数字

## 地域の ベストバンクへ

当金庫は、持続可能な社会の実現に向けて環境への配慮や社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。社会課題を起点に本業に取り組み、問題提起から課題解決に至るまで、金庫が持つ情報発信力・課題解決力を発揮し、地域社会の持続的発展や企業価値の発掘と向上に努めることで全てのステークホルダーと「ともに成長」をめざしています。

第13回 あましんグリーンプレミアム  
応募総数

154件



あまがさきエリア  
モノづくりパビリオン来場者数

641人



[Message]

環境への意識を職員一人ひとりの、  
そして、個々のお客さまの課題へ。

サステナブル推進部 部長代理 笠井 慧介

あましんはこれまでSDGs、ESG、GXといった取り組みを精力的に続けてきました。本年4月には、サステナブル推進部を創設して、点から線へ、線から面へと、その取り組みを強化しています。環境保全や脱炭素といったテーマは、国連をはじめ世界中で注目されているだけに“大きな主語”で語られがちです。これを職員一人ひとりの問題として、また個々のお客さまの問題として、具体的な課題とその解決へと導くために、当部の一員として専門知識を深め、地域に貢献していきたいと思えます。

## 地域経済の活性化と持続的発展

### 神戸大学と「ESG要素を考慮した事業性評価」の共同研究

当金庫は、2022年5月から神戸大学経済経営研究所とESG要素を考慮した事業性評価のあり方や中小企業の現状課題と実効性のある経営改善・事業再生について共同研究を行っています。こうした取り組みは、環境省から令和4年度・令和5年度と2年連続で「ESG地域金融促進事業」の支援先金融機関に採択されたほか、環境省が公表する「ESG地域金融実践ガイド」にも掲載されています。

当金庫は、神戸大学経済経営研究所の協力のもと、ESG要素を考慮した事業性評価・支援による地域ESG推進モデルの取り組みをさらに進化させていくとともに、横展開を進めることで、地域の持続的発展に貢献してまいります。



「ESG地域金融実践ガイド3.0」環境省HPより



### あましんSDGs応援融資

当金庫では2019年10月から、お取引先のSDGsやESG、カーボンニュートラルへの取り組みを資金面からサポートする「SDGs応援融資」を取り扱っています。この商品では、取り扱い実績に応じて、SDGsの趣旨に賛同し地域課題の解決に寄与されている組織、団体などへ寄付を行っています。また、当金庫のSNS (Instagram) などを通じてご利用いただいたお取引先のSDGsの取り組み・活動を広く発信し、SDGsの目標達成に向けた協働や啓発活動を促進しています。

### あまがさきエリア モノづくりパビリオン

2023年12月8日、9日の2日間、脱炭素経営にチャレンジする尼崎市内企業の魅力発信と地域産業の活性化を目的に、企業、学生、産業団体、金融機関等が力を合わせ、地域一体型オープンファクトリー「あまがさきエリアモノづくりパビリオン」を開催しました。

この事業は、環境省の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に尼崎市・尼崎商工会議所・当金庫などが共同で提案し、採択された事業の一環で行ったものです。

オープンファクトリー（市内11の企業の工場見学）、展示・ワークショップなどを通じて参加した皆さんにゼロカーボンへの知識を深めていただくとともに、脱炭素に向けて自分たちができることを考えてもらう良いきっかけになりました。



## 魅力ある地域社会づくりへの貢献

### 地域貢献活動

#### あまちゃん・しんちゃんプロジェクト

創業90周年を機に地域や自治会の皆さまのニーズ（地域の課題）にお応えし、より地域との連携を深めるために「本業のひとつとして能動的に参画する活動」をめざしてスタートした「あまちゃん・しんちゃんプロジェクト」。2020年度からは「あましんSDGs宣言」の重点項目を意識した活動内容へと転換を図っています。これまでの活動で得た地域とのつながりを活かし、さらなる活動の深化を図るため、自らが起点となり、地域の課題解決に向けて役職員が一丸となって取り組んでいます。



#### あまちゃん・しんちゃん子ども食堂オープン

2023年6月16日、尼崎市、尼崎市社会福祉協議会、地域婦人会などの運営ボランティアと協力し、旧園田寮を活用した「あまちゃん・しんちゃん子ども食堂」をオープンしました。地域のボランティアが中心となって子ども食堂を運営し、当金庫は運営に必要な設備の提供などハード面で協力するとともに、将来的には近隣地域の子ども食堂のサポートや地域のコミュニティの場としての利活用に力を注いでまいります。

#### 金融教育への取り組みについて

当金庫は地域の皆さまの金融リテラシー（知識）向上のため、学校などを訪問し、小学生から高校生までを対象とした金融教育を実施しています。開始以来延べ100校、約8,250人の児童・生徒の皆さまが参加しています。（2024年3月末現在）

##### ■ あましん「おかね寺子屋」

未来を担う子どもたちに「金融の基礎知識やお金の大切さ」を学んでもらうための金融プログラムを実施しています。当金庫の職員が地域の小中学校に向いて、「働くこと、貯蓄することの大切さ」などを分かりやすく解説しています。

##### ■ あましん金融経済教育セミナー

地域の高校生を対象に「卒業後、安全で豊かな人生を送るための第一歩」として金融や経済の知識を身につけてもらうため「お金を借りる」「資産運用」「お金のトラブル」などを主な内容としたセミナーを開催しています。



## 芸術・文化・スポーツの振興

### 世界の貯金箱博物館

世界62カ国、25,000点を超える貯金箱を収蔵する世界最大級の貯金箱博物館。尼崎にひとつの“文化の器を”との思いから、1984年4月にオープンして以来、地域の皆さまをはじめ県内外の貯金箱ファンの皆さまに愛されています。



### 尼信会館

2001年6月、創業80周年記念事業の一環としてオープンした尼信会館。館内の「城下町尼崎展」では、国の重要文化財「太刀銘守家」など、歴史的に貴重な資料を展示。また「コインミュージアム」では、当金庫が保有する世界170カ国の金貨・銀貨等を展示しています。随時特別展を開催しますので、ぜひご来館ください。

### 一般財団法人 尼信地域振興財団

1978年1月に当金庫が基金全額を出資して設立した尼信地域振興財団は、地域の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝し、財団の活動を通じて青少年の育成、地域文化の振興など、地域に根差した活動を行うことを目的としています。

2023年度の助成は約800万円(45件)、寄付は250万円(1件)。設立からの助成総額は7億7,700万円、寄付総額は3,500万円となっています。



### あましんサッカー大会

創業70周年記念事業として、1991年にスタートしました。当金庫は、サッカー大会の定期開催を通じて、地元阪神間の子どものふれあいの場を広げ、技術の向上、将来の夢の実現のお手伝いをしています。



### 尼信プラスフェスティバル

創業80周年記念事業の一環として、2001年11月にスタートしました。毎回たくさんの吹奏楽ファンにお楽しみいただいています。



## 環境保全の永続的な取り組み

### あましんグリーンプレミアム

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する地域の皆さまの優れた技術や製品・工法、取り組みやアイデアにスポットをあて表彰する制度で、新技術の開発や環境文化の創造につながることを願い、2011年に創設しました。第13回「あましんグリーンプレミアム」では、2023年6月1日から8月4日までの間に環境事業部門・環境活動部門・環境アイデア部門の3部門で150先から154件の応募をいただきました。1次・2次の書類選考とプレゼンテーションによる最終選考の結果、最優秀賞には障がいを持つ方々が農業を通じて社会参画し活躍できる場を創造することや学校給食に地場産食材を使用する取り組みを行っているHome Base 代表 畠一希様が選ばれました。



### あましん緑のプロジェクト

当金庫は、地元企業として環境保全活動に積極的に取り組むため〈あましん緑のプロジェクト〉を立ち上げ、尼崎市沿岸の国道43号線以南の臨海地域に緑豊かな環境をつくり、人と自然の共生をめざす兵庫県の「尼崎21世紀の森づくり」に2010年から参画しています。

2022年6月には、地域の皆さまと当金庫役職員が「10年かけて植樹し、100年かけて森を育てる」という大きな目標に向かって取り組む姿勢が高く評価され、一般社団法人全国信用金庫協会の第25回社会貢献賞において「Face to Face賞」を受賞しました。

10年かけて植樹するという大きな節目を終え、2022年からは除草・間伐活動など森を育てる育樹活動に力を注いでいます。



# 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

～地域一体となった社会課題への対応～

当金庫は、脱炭素社会への移行や持続可能な社会の実現にこれまで以上に貢献していくため、2023年にTCFD提言への賛同を表明しました。サステナビリティ体制を強化し、TCFD提言を踏まえた気候変動にかかる情報開示の充実に努めるとともに、これまで推進してきた社会・環境課題解決への取り組みをさらに発展させ、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

## TCFD提言への取り組みについて

当金庫では、持続可能な社会の実現に貢献するため、優先的に取り組む環境・社会課題の一つに「気候変動対応・環境保全」を掲げています。当金庫の営業区域は、創業の地である尼崎市を中心に大阪湾沿岸部に広がっています。この地域では津波や高潮・河川の氾濫といった水害リスクが想定されることから、気候変動リスク対応の重要性を認識し、地域一体となった社会課題への対応をめざします。また、当金庫は、気候関連財務情報開示の重要性を認識し、金融安定理事会（FSB）によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures:TCFD）が策定した提言を支持するとともに、TCFDが開示を推奨する、気候変動に関するリスクおよび機会に係る「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」に沿った情報開示を進めます。

### TCFD提言への取り組み内容

ガバナンス	当金庫では、環境・社会に係る機会およびリスクへの対応方針・取組状況を総合リスク管理委員会で審議・評価し、必要に応じて理事会に報告する体制を構築しております。また、気候変動を含むSDGsの取り組みについては、サステナブル推進部が中心となって組織横断的に取り組みます。
戦略	<p>[機会]</p> <p>脱炭素社会への移行やSDGsに取り組む企業への支援を通じて持続可能な地域経済の発展に寄与します。また、気候変動に関するお客さまのニーズを適切に把握し課題解決に向けた支援を行います。</p> <p>[リスク]</p> <p>当金庫が抱える主な気候関連リスクは、以下のものが考えられます。</p> <p>〈物理的リスク〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 台風や洪水等の発生による取引先の事業活動・財務への影響や当金庫の営業店等の損壊</li> <li>● 海面上昇等に伴う、担保物件の価値減少 (参考:物理的リスクの例)</li> </ul> <p>物理的リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均気温の上昇</li> <li>○ 海面上昇</li> <li>○ 異常気象の激甚化(台風、豪雨、土砂、高潮等)</li> </ul> <p>〈移行リスク〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 脱炭素社会移行により、取引先の財務や事業継続への悪影響が顕在化</li> <li>● 当金庫の気候変動への取り組みとステークホルダーの期待に乖離が発生 (参考:移行リスクの例)</li> </ul> <p>移行リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 炭素価格</li> <li>○ 各国の炭素排出目標/政策(伐採税・プラスチック規制)</li> <li>○ エネルギーミックスの変化、再エネ・省エネ技術の普及</li> <li>○ 次世代技術の進展・重要製品/商品価格の増減</li> <li>○ 顧客評判(行動)変化</li> <li>○ GHG排出規制への対応</li> </ul>
リスク管理	気候変動に起因するリスクが当金庫の経営に与える影響について、統合的リスク管理の枠組みの下で管理する体制を構築してまいります。
指標・目標	<p>[CO<sub>2</sub>削減目標]</p> <p>2030年度末までにCO<sub>2</sub>排出量50%減(2013年度対比) 2050年度末までにCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ</p> <p>[サステナブルファイナンス目標]</p> <p>2030年度までのサステナブルファイナンス目標額:1,000億円</p>

### 2023年度の対応状況

ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ TCFD提言に賛同し、開示を実施</li> <li>☑ TCFDコンソーシアムへの入会</li> <li>☑ 総合リスク管理委員会を通じて、金庫の取り組みを報告</li> <li>☑ 本部各部署の取り組み(アクションプラン)を策定</li> </ul>																		
戦略	<p>[主な取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 当金庫を含めた経済団体「AG6」と共同で脱炭素オープンファクトリーものづくりバリエーションを開催</li> <li>● 2023年度ESG地域金融促進事業へ取り組みし、ESG要素を考慮した事業性評価シートを作成</li> <li>● エコアクション21認証を申請</li> <li>● 信金中央金庫気候変動ワークショップへの参加</li> <li>● SDGs宣言書策定支援 208件(累計222件)</li> </ul>																		
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動が与える影響についてリスク事象を検討</li> </ul>																		
指標・目標	<p>[CO<sub>2</sub>排出量]</p> <p>2013年度:5,574t 2022年度:2,623t(2013年度比:▲52.9%)</p> <p>※2030年度の目標には達成しておりますが、2050年度のネットゼロ目標に向け引き続き対応を行ってまいります。</p> <p>当金庫のCO<sub>2</sub>排出量</p> <table border="1"> <caption>当金庫のCO<sub>2</sub>排出量</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量(t)</th> <th>対2013年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度</td> <td>5574</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2021年度</td> <td>3115</td> <td>▲44.1%</td> </tr> <tr> <td>2022年度</td> <td>2623</td> <td>▲52.9%</td> </tr> <tr> <td>2030年度(目標)</td> <td>2787</td> <td>▲50%</td> </tr> <tr> <td>2050年度(目標)</td> <td>0</td> <td>カーボンニュートラル</td> </tr> </tbody> </table> <p>[投融资の状況]</p> <p>2030年度までのサステナブルファイナンス目標額:1,000億円 2023年度までのサステナブルファイナンス実績額: 77億円</p>	年度	排出量(t)	対2013年度比	2013年度	5574	-	2021年度	3115	▲44.1%	2022年度	2623	▲52.9%	2030年度(目標)	2787	▲50%	2050年度(目標)	0	カーボンニュートラル
年度	排出量(t)	対2013年度比																	
2013年度	5574	-																	
2021年度	3115	▲44.1%																	
2022年度	2623	▲52.9%																	
2030年度(目標)	2787	▲50%																	
2050年度(目標)	0	カーボンニュートラル																	

## 人的資本の 充実

地域社会やお客さまを取り巻く環境が大きく変化するなか、当金庫の経営の基本方針である「地域社会への貢献」を体現しめざす姿を実現するためには、役職員一人ひとりの意識と行動の変革が求められます。当金庫では人的資本経営を重要な経営戦略と位置づけ、職員の自律的キャリア形成を促し、活力ある組織風土を醸成することで〈あましん〉の組織力アップへとつなげています。

平均年齢

41.8歳



1人あたりの研修費

31,456円



[Message]

コミュニケーションを活性化し、  
個性が生きる職場づくりを。

苦楽園支店 支店長 森本 由紀子

2024年4月、支店長を拝命して心掛けようと思ったのは、支店のメンバーが安心していきいきと働ける環境をつくることです。新しい人事制度が導入され、一人ひとりの自律的な成長を促し、多様なキャリアに意欲的にチャレンジできる道筋が示されましたが、それを具体的な形につくっていくのは、私たち管理職の課題です。それぞれが自らのキャリアをイメージして努力することで、営業店は強くなります。コミュニケーションを活性化し、個性が尊重される職場づくりに注力していきます。



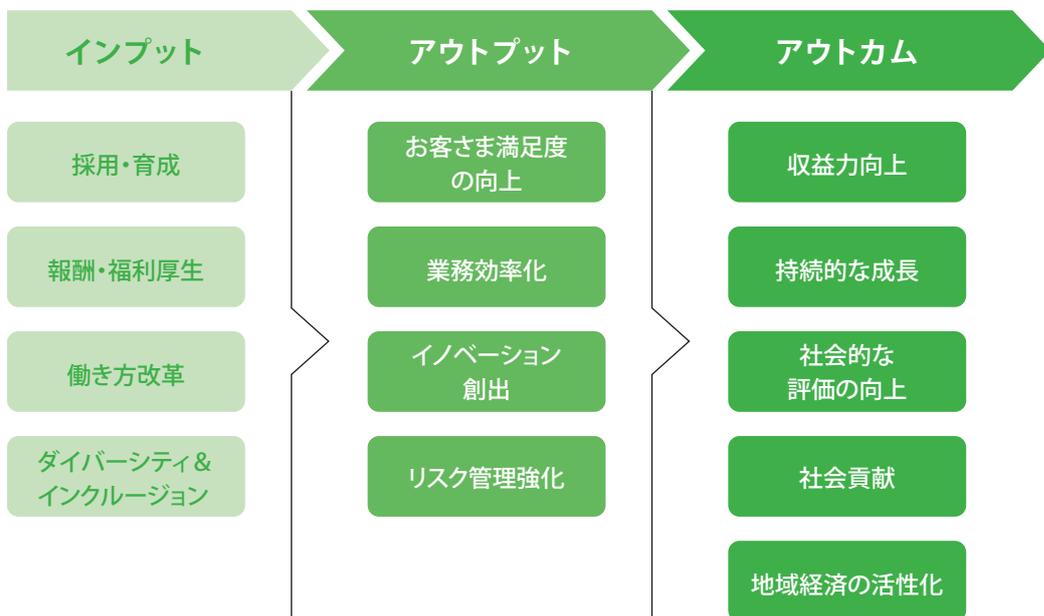
## 人事制度改革

2024年4月からの新しい人事制度はキャリアプランの実現とスキルアップの両輪で設計しており、地域・お取引先、職員、金庫が「ともに成長」することをめざしています。職員一人ひとりが持つ力を最大限に発揮することで、信用金庫業務の醍醐味である「地域やお取引先の成長」「金庫で働く喜び」を実感し、さらなる成長につなげる。その好循環により、エンゲージメントを持続的に高め、〈あましん〉の地域に対する本気度を具現化していきます。



## あましんのめざす 人的資本経営

当金庫において人的資本経営は、中長期的な企業価値向上に不可欠な要素です。金融機関を取り巻く環境が大きく変化している中で地域の皆さまのご期待に応えていくには、優秀な人材を獲得・育成し、職員一人ひとりの能力やスキルを高めることが重要です。新人事制度やキャリアチャレンジ制度を導入するなど、人的資本経営を積極的に推進することで、「地域のベストバンク」をめざす当金庫の持続的な成長と発展を実現していきます。



## 人的資本の創出

### ■ キャリアチャレンジ制度「マイキャリアアップ」を導入

年齢・職位などに制限を設けず、職員一人ひとりが〈あましん〉で成し遂げたい「夢」の実現に向けて積極的に挑戦できるフィールドを提供しています。



#### ジョブチャレンジ

業務や職位へのチャレンジ

- 希望する業務への立候補
- 上位職への立候補



#### スキルチャレンジ

資格取得、リスキリング、リカレント(学び直し)のチャレンジ

- 専門資格の取得やリカレントを支援
- DX、コンサルなどの専門性の向上



#### シャイニングチャレンジ

一人ひとりが自分らしく輝くためのチャレンジ

- 育児休業者の復職やスキルアップを後押し
- 総合職への転換



#### セカンドキャリアチャレンジ

シニア世代の活躍推進

- 定年後のキャリアのあり方を再定義

### ■ 有資格者数

2024年3月31日現在

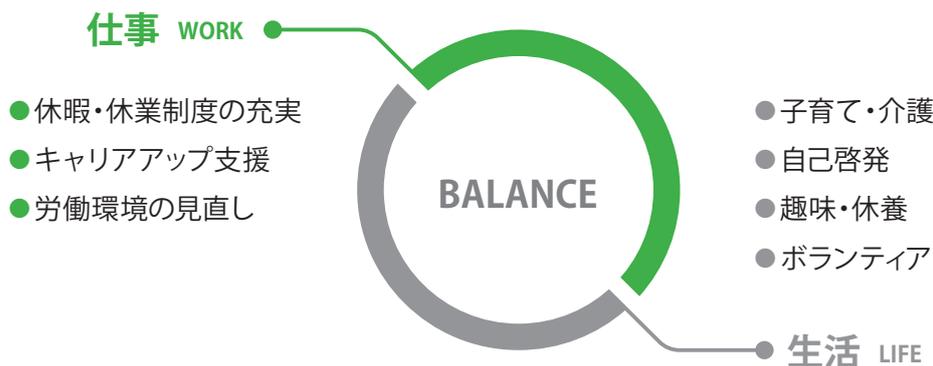
税理士	1	2級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査2級)	
不動産鑑定士	1	● 個人資産相談業務 (390)	649
社会保険労務士	6	● 中小事業主資産相談業務 (243)	
証券アナリスト	2	● 資産設計提案業務 (15)	
中小企業診断士	12	● 生保顧客資産相談業務 (1)	
宅地建物取引士	42	3級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査3級)	1,057
公認内部監査人(CIA)	3	1級金融窓口サービス技能士	8
公認不正検査士(CFE)	11	● テラー業務(テラー技能審査1級)	
1級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査1級)	22	2級金融窓口サービス技能士	95
		● テラー業務(テラー技能審査2級) (86)	
		● 金融商品コンサルティング業務 (9)	
		3級金融窓口サービス技能士	343
		● テラー業務(テラー技能審査3級) (336)	
		● 金融商品コンサルティング業務 (7)	

## 職場環境の整備

「連続休暇」「フリープラン休暇」「記念日休暇」などの年次有給休暇、「男性の育児休業」や「家族介護休業」などを含め、各種休暇を利用しやすい環境整備に取り組んでいます。また、当金庫は職員が「企業人」とするとともに「地域住民」としての役割が大切であると考えており、ボランティア活動を目的とした休暇を設け、地域住民の一員として活動できるよう支援しています。

### ■ ワーク・ライフ・バランス

当金庫は、職員一人ひとりがそれぞれの環境で最大限の能力を発揮できるよう、仕事と私生活の両立を支援する制度を整備・拡充し、利用を促進しています。



### ■ 当金庫の主なワーク・ライフ・バランス施策

#### 就業継続の支援

- 育児休業制度
- 介護休業制度
- 家族介護休暇(有給休暇)
- 保育休暇(有給休暇)
- 配偶者の出産のための父親の休暇(特別休暇)
- 子の看護のための休暇(特別休暇)
- 家族介護のための休暇(特別休暇)
- 短時間勤務制度(育児・介護)
- 再雇用制度



#### 健康管理の支援

- 健康増進休暇(有給休暇)
- ストレスチェック
- 婦人科検診の積極的な奨励
- 職員悩みごと相談窓口の設置
- ハラスメントに関する相談窓口の設置
- 定期健康診断
- がん検診の積極的な奨励
- 人間ドック
- 職員心の相談室の設置

#### 「非」労働時間の充実

- 連続休暇(有給休暇)
- フリープラン休暇(有給休暇)
- コミュニティー休暇
- 各種厚生施設・各種契約施設
- 定時退店日の設定
- 各種クラブ活動

#### キャリア開発支援

- コース別人事管理制度
- 業種別審査スペシャリストの養成
- e-ラーニング
- 職員転換制度
- コース転換制度
- ホリデースクール
- 資格手当制度

当金庫は、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画において、育児・子育て支援企業として積極的にワーク・ライフ・バランスへの取り組みを行っています。

(計画期間：2023年4月1日から2025年3月31日までの2年間)

育児休業の  
取得率を  
100%以上

短時間勤務制度の  
利用者数を  
60人以上

若手女性職員を対象に  
キャリアアップを支援する

## コンプライアンス(法令等遵守)推進体制 コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。

金融機関の社会的責任や企業倫理のあり方が厳しく問われている現在、当金庫は、その社会的使命と公共性を十分理解し、信用金庫法をはじめ各種関係法令や社会規範に則って日々の業務を適正に運営することが、地域とともに歩む金融機関としての当然の責務であるとの基本認識のもと、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。また、役職員が適切な行動をとるための礎として「行動憲章」を定め、その実践に努めています。

### 尼崎信用金庫行動憲章

尼崎信用金庫は、地域の中小企業と地域住民のための金融機関として、持続可能な社会の実現に向けてその社会的責任を果たすべく、行動憲章を制定する。

#### [信用金庫の社会的使命と公共性の自覚と責任]

1. 当金庫のもつ社会的使命と公共性を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。

#### [質の高い金融サービスの提供と地域社会発展への貢献]

2. 経済活動を支えるインフラとしての安定的な機能提供とサービスの高度化に向けた不断の創意と工夫に努め、お客さま本位の業務運営を通じて、お客さまのニーズに応えるとともに、市民生活や企業活動に脅威を与えるテロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、セキュリティレベルの向上や災害時の業務継続確保などお客さまの利益の適切な保護にも十分配慮した質の高い金融サービスの提供を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。

#### [法令やルールの厳格な遵守]

3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。

#### [地域社会とのコミュニケーション]

4. 経営等の情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。また、当金庫を取り巻く幅広いステークホルダーとの建設的な対話を通して、社会からの理解と信頼を確保し、自らの価値向上を図る。

#### [人権の尊重]

5. すべての人々の人権を尊重する。

#### [多様な人材の活躍、健康・安全な職場]

6. 多様な人材の活躍を促進する制度や柔軟な働き方を実現する。また、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を確保する。

#### [人材育成への取組み、金融経済教育への貢献]

7. 人材育成や能力開発に積極的に取り組み、職員の自律的なキャリア形成を支援する。また、金融経済教育への参画等により、社会の金融リテラシー向上に貢献する。

#### [環境問題等への取組み]

8. 地球環境や社会情勢の変化等への耐性の高いサステナブルな環境・社会の構築に向け、主体的に行動する。

#### [社会参画と発展への貢献]

9. 当金庫が社会の中においてこそ持続・発展し得る存在であることを自覚し、社会とともに歩む「良き企業市民」として、積極的に社会に参画し、その発展に貢献する。

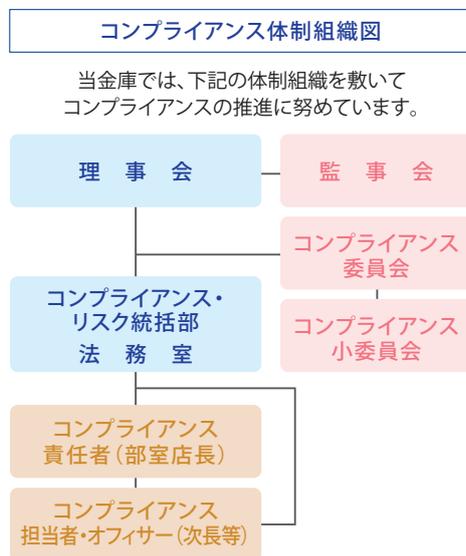
#### [反社会的勢力との関係遮断、テロ等の脅威への対応]

10. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは断固として対決し、関係遮断を徹底する。また、国際社会がテロ等の脅威に直面している中で、マネー・ローンダリング対策およびテロ資金供与対策の高度化に努める。

## 当金庫の コンプライアンス 体制

当金庫では、コンプライアンスを単に法令等を遵守するだけでなく、利用者保護や市場の公正・透明の観点、あるいは金融機関に対する社会的な要請等に照らして適切な業務運営を行うことと捉え、その推進を行うために右図のような体制としています。

理事長を委員長とするコンプライアンス委員会では、コンプライアンスの状況やコンプライアンス体制の整備・運用等について定期的に検討し、施策の立案、問題点の改善等を行い、検討事項を定期的に理事会に付議・報告しています。また、コンプライアンスを統括する部署として、コンプライアンス・リスク統括部内に「法務室」を設置しているほか、各部室店には、コンプライアンスに関する統括責任者である「コンプライアンス責任者」(部室店長)と、コンプライアンスの推進やリスク管理等の役割を担う「コンプライアンス担当者・オフィサー」(次長等)を配置しています。



## コンプライアンスの推進のための取り組み

### ■ コンプライアンス・プログラムの策定

コンプライアンスを実現するための具体的な実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を毎年度策定し、本プログラムに沿った各種施策に取り組んでいます。

### ■ ヘルプラインの設置

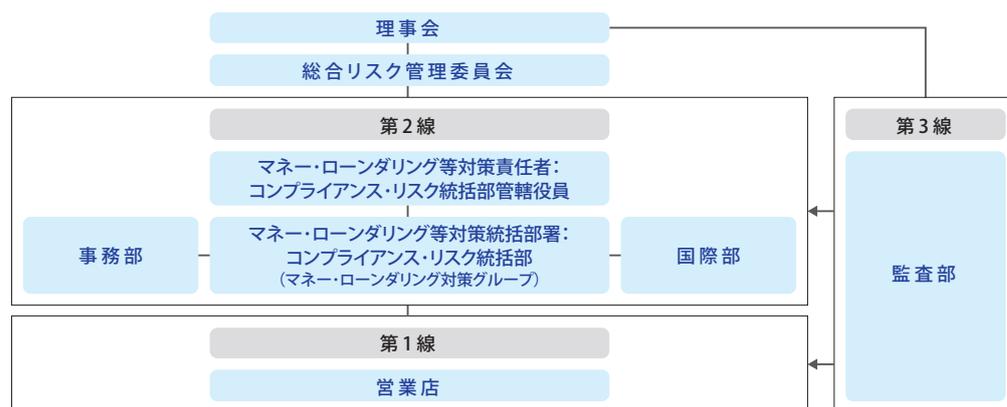
当金庫では、不正行為等や法令違反その他のコンプライアンスの問題等の早期発見と是正を図るため、職員が直接相談または通報する窓口として「ヘルプライン」を設置しています。また、内部に設置している窓口に加え、外部の弁護士事務所にも窓口を設置することにより、役職員がより安心して利用できる環境整備に努めています。

## マネー・ローンダリング及びテロ資金供与・拡散金融対策への取り組み

近年、国際社会においてマネー・ローンダリング及びテロ資金供与・拡散金融（以下、「マネロン等」といいます）対策の重要性が高まっています。当金庫においても、マネロン等対策を経営の重要課題の一つと位置づけ、犯罪収益移転防止法、金融庁「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」や、財務省「外国為替取引等取扱業者のための外国為替法等の遵守に関するガイドライン」、FATF等の国際機関の要請、OFACをはじめとする各国の要請等において求められる管理態勢の強化や、マネロン等のリスクに応じた取り組みを行っています。

具体的には、当金庫は、コンプライアンス・リスク統括部をマネロン等対策の統括部署、コンプライアンス・リスク統括部管轄役員をマネロン等対策の責任者と定めるとともに、当金庫が直面するマネロン等リスクを特定・評価し、リスクに応じた低減措置を適切に講ずるなど、対策を実施しています。また、理事会においても、2022年7月にマネロン等対策を統括するグループとして、コンプライアンス・リスク統括部内にマネー・ローンダリング対策グループを新設するなど、実効性を確保するための体制整備に主導的に関与しています。

今後も、金融犯罪行為を防止し、お客さまが安心・安全にお取引いただけるよう、こうした態勢を強化するなど、さまざまな対策を進めてまいります。



## 反社会的勢力との関係遮断

当金庫は、信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を果たすため、「反社会的勢力に対する基本方針」を制定しています。

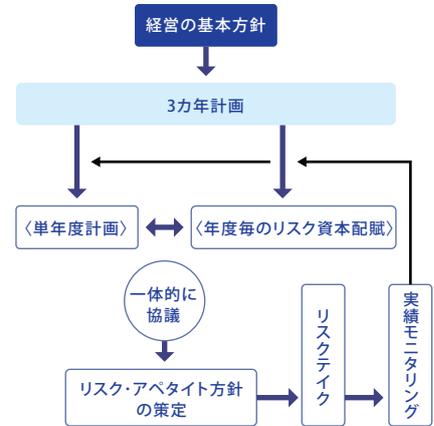
反社会的勢力に対し毅然とした態度で臨み、断固たる態度でその関係を遮断し排除していくことにより、公共の信頼を維持し、業務の適切性および健全性の確保に努めています。また、基本方針を具現化するため、信用金庫取引約定書や各種預金規定に反社会的勢力の排除条項を盛り込むなどの態勢を整備しています。「反社会的勢力に対する基本方針」については、当金庫ホームページをご覧ください。

## リスク管理高度化の取り組み 信頼される地域金融機関としてリスク管理体制の高度化に努めています。

経済のグローバル化やデジタル化の進展など、金融を取り巻く環境が急激に変化するなかでも、当金庫は地域に密着した信用金庫として、質の高い金融仲介機能を発揮し、地元企業や地域経済を支えるとともに、その持続的な成長に貢献するという使命を果たさなければなりません。

それらの実現をめざし当金庫では、経営目標の達成に向けた施策と進んで受け入れるべきリスクの種類・総量を一体的に管理する「リスク・アペタイト・フレームワーク(RAF)」<sup>(注)</sup>の考え方を取り入れ、その定着に努めています。多様化・複雑化するリスクを制限するだけでなく、適正なリスクテイクのもとでリターンの最大化をめざすRAFを活用し、収益計画や資本配分を巡るリスク管理部門とフロント部門の対話を促進していくことで、リスクガバナンスの高度化を図っています。

[RAFに基づく業務運営態勢]



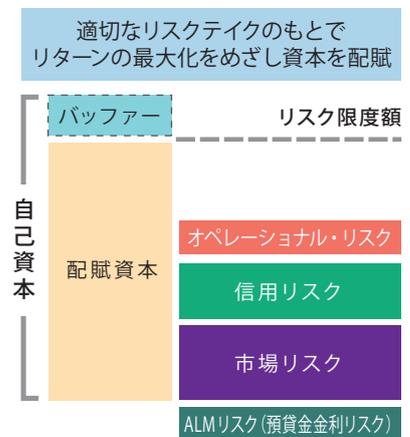
(注) 経営目標や事業戦略、財務計画などを達成するための「リスク・アペタイト(どのような業務に取り組み、どのようなリスクをどこまで取り、どの程度の収益を上げるかに関する中長期的な指針)」を明確にし、経営やリスクなどを管理する「フレームワーク(枠組み)」を指す。

## リスクテイクと資本配賦

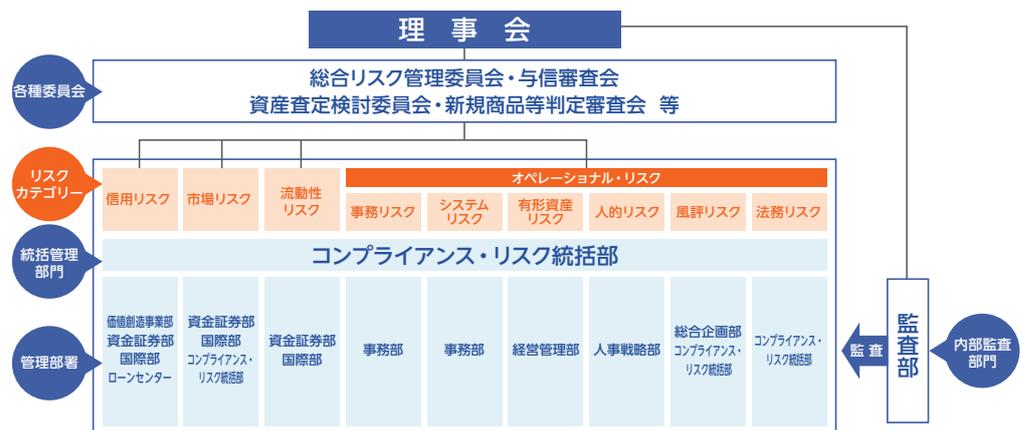
当金庫は、RAFの協議により示された貸出や有価証券投資のリスク選好の方向性を踏まえ、最適な資本配分に基づく収益の最大化をめざし、各種リスクを計量化のうえ、リスク資本の配賦・管理を実施しています。

具体的には、当金庫の自己資本額からバッファーを除いた額をリスク資本配賦額(リスク限度額)として、一定額を市場リスク、信用リスク、ALMリスク(預貸金金利リスク)、オペレーショナル・リスクの各部門に配賦し、この配賦額と各部門のリスク量を比較することによりリスクをモニタリングしています。なお、ALMリスクについては、コア預金内部モデルの導入に伴い、リスク量が負の値として計測されるため、配賦資本はゼロとして管理を行っています。

[資本配賦の仕組み]



## リスク管理体制



## 信用リスク管理

信用リスクとは、取引先の財務状況の悪化等により、貸出金などの資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいいます。

### ■ 審査体制

当金庫では、取引先の実態把握を行うとともに、業界の動向や技術力・販売力等から成長性等を見極めるなど、総合的な評価による与信判断に努めています。また、業種別の信用リスクのよりきめ細かな把握と管理の徹底を図るため、各業種に精通した業種別審査スペシャリストを審査部署に配置しています。さらに、コンサルティング機能の一層の強化を図ることにより、取引先の経営改善・事業拡大等の支援にも努めています。

### ■ 信用格付制度をベースとしたリスク管理

当金庫では、貸出金の信用リスクを客観的に把握するため、「信用格付制度」等を導入し融資先の業況変化等を継続的に把握しています。また、「信用格付制度」を起点として信用リスクの計量化を行い、貸出資産におけるリスク量の変化を把握するなど、適切に管理しています。

### ■ 自己査定

貸出金等の資産内容の自己査定を厳正に行うため、「自己査定システム」を導入し、営業店が融資先の第一次査定を行い、審査部門において第二次査定を実施しています。さらに、統括管理部門でその検証を行う体制を構築しています。

## 市場リスク管理・ 流動性リスク管理

### ■ 市場リスク

市場リスクとは、金利、有価証券の価格、為替等のさまざまな市場ファクターの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクのことです。具体的には金利リスク、価格変動リスク、為替リスクとこれらに付随する信用リスク等の関連リスクを総称して市場リスクといえます。

当金庫では、理事会で運用方針や運用基準を定め、ポジション枠やリスク・リミット等についても、当金庫の収益力やリスク管理能力等を勘案して、定期的に見直しています。また、資金証券部、国際部、コンプライアンス・リスク統括部による市場取引にかかる相互牽制の徹底やグローバル分散運用の拡大に伴うリスクプロファイルの変化に対応したリスクファクター分析の高度化、総合リスク管理委員会や理事会への定期的な報告などにより、リスク管理体制の強化を図っています。

### ■ 流動性リスク

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出により、通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたり、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクのことで、具体的には市場流動性リスクと資金繰りリスクをいいます。

当金庫では、流動性リスクの増大を回避するため、市場流動性の高い有価証券への投資を基本とするとともに、短期間で資金化できる資産を流動性準備として一定水準以上保有するなど、日々安定的な資金繰り管理に努めています。

また、お客さまの信用不安を招く風評等による預金流出リスクに備えるため、金庫の信認に影響を与える風評等（SNS、新聞等のメディア掲載情報）についてモニタリングを実施しています。

## オペレーショナル・ リスク管理

当金庫では、オペレーショナル・リスクを、金融庁告示第307条のオペレーショナル・リスク（信用金庫業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であることまたは外生的な事象により損失が発生しうる危険）に風評リスクを加えたものと定義したうえで、具体的なリスクとして事務リスク、システムリスク、有形資産リスク、人的リスク、風評リスク、法務リスクの6つに分けています。

また、「オペレーショナル・リスク管理方針」「オペレーショナル・リスク管理規程」などにに基づき、適切にオペレーショナル・リスクを特定・評価・モニタリング・コントロールおよび削減するためのリスク管理の枠組みを構築しています。

## 業務継続体制

当金庫は、地震などの自然災害、システム障害、感染症の流行など、業務運営を妨げるような障害が発生した場合でも、社会・経済活動に必要な金融決済機能を維持し、お客さまに継続して金融サービスが提供できるよう、「業務継続基本規程」「業務継続・危機管理対策要綱」を制定し、業務継続体制の整備に取り組んでいます。

また、攻撃が巧妙化・複雑化するサイバー犯罪からお客さまの大切な財産や情報を守るため、サイバー攻撃による被害の未然防止およびお客さま・業務への影響を最小限に抑えるための体制整備を行っています。

### 業務継続への 取り組み

当金庫の業務継続が困難となる危機の発生時においても、お客さま・役職員の安全確保および二次災害（被害拡大）の防止に努めつつ、優先的に継続すべき重要な業務の継続を図るため、以下の事項を基本として対応します。

- 地域の皆さまの生活や経済活動の維持に必要な金融サービスの提供に努めます。
- 金融決済機能を維持し、経済活動の混乱抑制に努めます。
- 業務の停止に伴うお客さまからの信認低下など、金融機関としての経営面でのリスクを軽減します。

### サイバー セキュリティ

近年のデジタル技術の著しい進展により、インターネットやスマートフォンを利用した取引が増加しています。その一方で、サイバー攻撃手法の高度化・巧妙化も進んでおり、金融機関を取り巻くサイバーリスクは高まっています。

当金庫では、サイバー攻撃によるリスクを経営上のトップリスクの一つと位置づけ、経営主導によるサイバーセキュリティ管理態勢の強化に継続的に取り組み、お客さまにより安心・安全なサービスを提供してまいります。

#### ① サイバーセキュリティ管理態勢の構築

当金庫は、サイバーセキュリティ対策委員会による包括的な管理態勢を構築しています。新たな攻撃手法や脆弱性情報の迅速な共有、定期的なサイバーセキュリティ演習への参加、役職員への継続的な教育を通じて、セキュリティリスクへの対応力を高めています。

#### ② インシデント対応体制の確立

サイバーインシデントへの迅速かつ効果的な対応のために、「CSIRT (Computer Security Incident Response Team)」を設置し、組織的な対応体制を整えています。また、外部機関主催の実践的な攻撃手法によるサイバーセキュリティ演習に参加し、発見された課題に基づいて改善策を講じています。

#### ③ セキュリティ対策の継続的強化

不正アクセスの防止、内部ネットワークの保護、情報漏洩防止など、多層的な技術的対策を実施しています。また、外部専門家によるセキュリティ評価を定期的に受け、システムの脆弱性やセキュリティ対策の有効性を検証し改善しています。このほか、eラーニング教育やオンラインセミナーを受講するなど、職員のセキュリティ意識向上をめざした研修を定期的に行っています。

地域のお客さまからさらに信頼される金融機関をめざしています。

## 顧客保護等 管理方針

当金庫は、「お客さまの保護および利便性の向上」を図ることを経営の最重要課題の一つに位置づけ、顧客保護等管理方針を定め、公表しています。

## お客さま本位の 業務運営に関する 取組方針

当金庫の経営の基本方針に基づいて、お客さまの資産形成・資産運用における「お客さま本位」の取り組みを実践するため、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、公表しています。

## 金融商品に係る 勧誘方針

当金庫は、お客さまに金融商品を販売する際には、適正な情報の提供と商品説明を行うなど「金融商品に係る勧誘方針」を遵守し、勧誘の適正の確保を図ることとしています。

## 利益相反 管理方針

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理し、もってお客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼を向上させるため、「利益相反管理方針」を制定しています。

## 個人情報保護 宣言 (プライバシーポリシー)

当金庫は、お客さまからの信頼を第一と考え、お客さまの個人情報及び個人番号（以下「個人情報等」といいます。）の適切な保護と利用を図るために、個人情報の保護に関する法律（2003年5月30日法律第57号）、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（2013年5月31日法律第27号）および金融分野における個人情報保護に関するガイドライン、その他個人情報等保護に関する関係諸法令等を遵守するとともに、その継続的な改善に努めています。また、個人情報等の機密性・正確性の確保に努めています。

## カスタマー ハラスメントに対する 基本方針

当金庫は、お客さまと当金庫職員等の人権を共に尊重し、お客さまの信頼や期待に応えていくため、万一同様お客さまからの社会通念上相当な範囲を超えた要求や言動があった場合の基本的な方針を定め、公表しています。

当金庫で働く職員等の人格を否定し尊厳を傷つける言動に対しては毅然とした態度で対応し、当金庫で働く職員等が安心して働くことができる健全な職場環境を確保しつつ、引き続きお客さまへの誠意をもって対応し健全な関係を維持していくことを心掛けます。

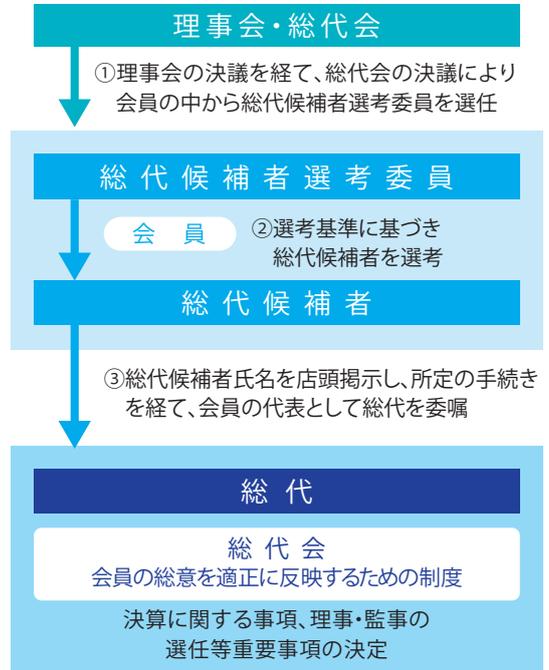
## 開かれた総代会をめざして

### [1] 総代会のしくみ

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員1人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、様々な経営改善に取り組んでいます。



【総代会は、会員1人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です】



### [2] 総代とその選任方法

#### ① 総代の任期・定数・定年

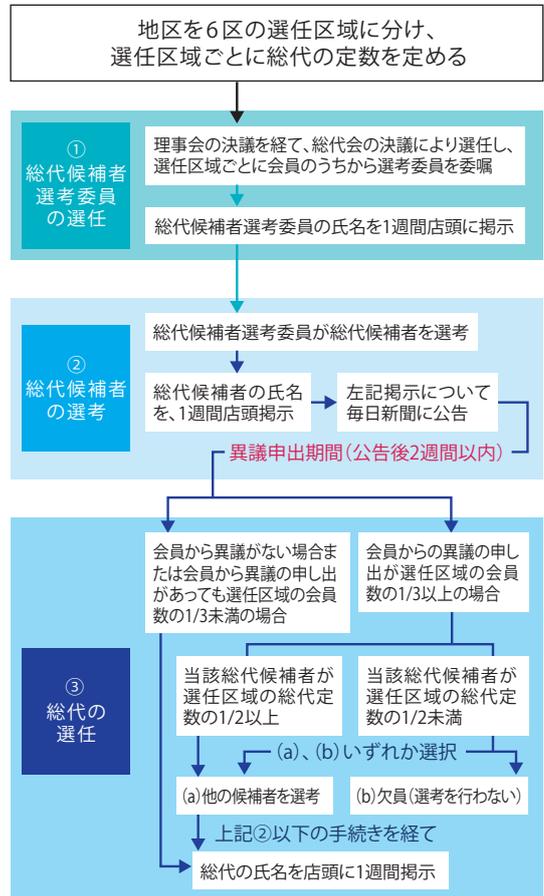
- 総代の任期は2年です。
- 総代の定数は定款に定める範囲内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。
- 総代の定年は満80歳です。(但し任期の途中で年齢が満80歳に達した場合はその任期の満了をもって終えるものとします。)
- なお、2024年6月20日現在の総代数は136名で会員数は、127,241名です。

#### ② 総代の選任方法

総代は会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- (1) 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- (2) その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- (3) その総代候補者について会員に信任を問う。

#### 【総代が選任されるまでの手続きについて】



## [3] 総代候補者 選考基準

- ① 資格要件
  - 当金庫の会員であること。
  - 満80歳未満であること。
- ② 適格要件
  - 総代として相応しい見識を有している人であること。
  - 良識をもって正しい判断ができる人であること。
  - 地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること。
  - 地域での居住年数が長く、人縁関係が深い人であること。
  - 行動力があり、積極的な人であること。
  - 人格・識見に優れ、当金庫の発展に寄与できる人であること。
  - 当金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する人であること。

## [4] 総代会の 決議事項

### 第104期通常総代会

2024年6月19日、総代135名（うち委任状による出席36名）のご出席をいただき、本店3階大会議場で開催しました。総代会が適法に成立している旨の報告があり、2023年度の業務報告のあと議事に入り、右記の議案を満場一致で原案通り承認可決いただきました。

報告事項 / 第104期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

- 決議事項
- 第1号議案 / 剰余金処分（案）承認の件
  - 第2号議案 / 総代候補者選考委員選任の件
  - 第3号議案 / 会員の法定脱退（除名）の件
  - 第4号議案 / 理事選任の件
  - 第5号議案 / 監事選任の件

## [5] 総代の氏名 (2024年6月20日現在)

### 尼崎市南部地区 (JR東海道本線以南) (25名)

有里 正夫⑧ / 池田 勝海⑧ / 石本 一也① / 今井 正也⑨ / 岩口 松男⑥ / 大隈 健英③ / 大島 時彦⑨ / 岡本 有司⑥ / 鍵田 智嗣⑧ / 假屋 博志① / 柴田 侃一⑧ / 島中 哲美⑤ / 杉本 真一② / 高橋 秀典⑤ / 谷 竹治⑥ / 玉井 健一⑥ / 智多 昌志③ / 中馬 淳⑧ / 濱本 規之① / 平尾 秀樹① / 福田 孝③ / 藤井 光博⑨ / 宮崎 健一② / 森 清龍① / 山田 善弘④

### 尼崎市北部地区 (JR東海道本線以北) (21名)

石山 茂④ / 伊藤 泰弘① / 大川 肇④ / 大西 康雄⑦ / 岸田 政文③ / 小寺 博一⑨ / 佐藤 肇① / 杉原 豊弘② / 高橋 勝⑦ / 玉井 一男⑦ / 栃尾 康介⑥ / 中村 英一⑩ / 福田 承子④ / 福本 豊⑦ / 堀部 雅夫⑪ / 松田 隆⑤ / 松本 勝憲⑬ / 森本 真澄⑦ / 山下 健治⑩ / 善見 壽男④ / 與那嶺 まり子①

### 伊丹・川西・宝塚各市、猪名川町地区 (23名)

池上 尚之⑦ / 井上 智之④ / 歌枕 孝⑥ / 大石 伸一③ / 片井 勝④ / 金谷 修右③ / 古結 泰司④ / 佐郷 充啓① / 清水 正① / 菅原 弘④ / 竹田 英一⑨ / 田中 和男⑦ / 田中 義章⑤ / 寺本 達也③ / 中野 学② / 中村 良子⑤ / 藤縄 修平① / 古田 孝雄④ / 米谷 登⑧ / 枅川 武男⑦ / 森崎 正定④ / 山本 泰幸④ / 渡邊 修司④

### 西宮・芦屋・神戸・三田・三木・丹波篠山・加東・明石各市区 (31名)

池田 福典④ / 上田 勝嗣⑧ / 江里口 一佳⑦ / 柿木 浩④ / 北住 幸康⑤ / 北田 勝也⑦ / 黒田 俊一⑥ / 小坂 圭一⑦ / 小西 康治① / 小西 孝教⑨ / 小林 泰⑪ / 佐藤 信一郎③ / 佐藤 寿延① / 柴田 治⑤ / 鈴木 康之① / 竹本 清三③ / 谷口 直毅⑩ / 樽岡 清① / 土谷 千津子① / 天王寺 昭博⑧ / 西本 正⑪ / 灰山 元芳⑧ / 早瀬 利典⑧ / 原田 高幸⑦ / 平井 一憲⑨ / 福田 義信⑦ / 藤谷 知之⑤ / 藤原 國雄⑪ / 松本 康利③ / 丸岡 稔洋⑩ / 横山 嘉夫②

### 大阪府下北部 / 大阪市東淀川・淀川・西淀川・旭・福島・北・西・中央・都島・城東各区、池田・豊中・箕面・吹田・摂津・茨木・高槻・守口・門真・大東・寝屋川・四条畷・枚方各市、能勢・豊能各町地区 (19名)

阿部 隆博③ / 石田 恵一② / 井上 信幸④ / 井元 克典⑤ / 岡本 真二④ / 黒川 京正⑧ / 西良 耕一① / 坂西 泰彦⑧ / 竹中 豊⑪ / 戸川 孝雄④ / 富永 道代⑤ / 永井 宏幸④ / 中村 勝一⑨ / 仁木 清英⑤ / 西田 正一⑨ / 芳賀 清④ / 橋本 馨⑫ / 森 巧④ / 若林 敬造⑤

### 大阪府下南部 / 大阪市鶴見・東成・生野・東住吉・平野・天王寺・浪速・西成・住吉・住之江・大正・此花・港・阿倍野各区、東大阪・八尾・柏原・堺・松原・藤井寺・羽曳野・富田林・河内長野・高石・泉大津・和泉・大阪狭山・岸和田各市、忠岡町地区 (17名)

赤松 幸宏③ / 有田 善実③ / 市林 健司③ / 上田 哲夫⑥ / 汲田 博之⑤ / 下 俊男⑦ / 関口 幸一⑨ / 辻本 侃三⑨ / 西尾 崇③ / 西尾 弘美② / 西村 博仁⑤ / 林 卓之① / 廣安 雅美⑦ / 堀田 憲一⑤ / 増田 尉男⑦ / 松峯 哲也④ / 村上 周三②

以上136名(五十音順・敬称略) ※氏名の後の数字は総代就任回数

総代の 属性別 構成比	職業別	法人代表者:88.9%	個人事業主:3.7%	個人:7.4%				
	年代別	70代以上:43.4%	60代:31.6%	50代:21.3%	40代:3.7%			
	業種別	製造業:31.6%	建設業:22.1%	運輸業・郵便業:5.1%	卸売業・小売業:19.9%	不動産業:7.4%	サービス業:12.5%	個人:0.7%

※業種別の構成比は、総代が主に従事されている業種によって算出しております。

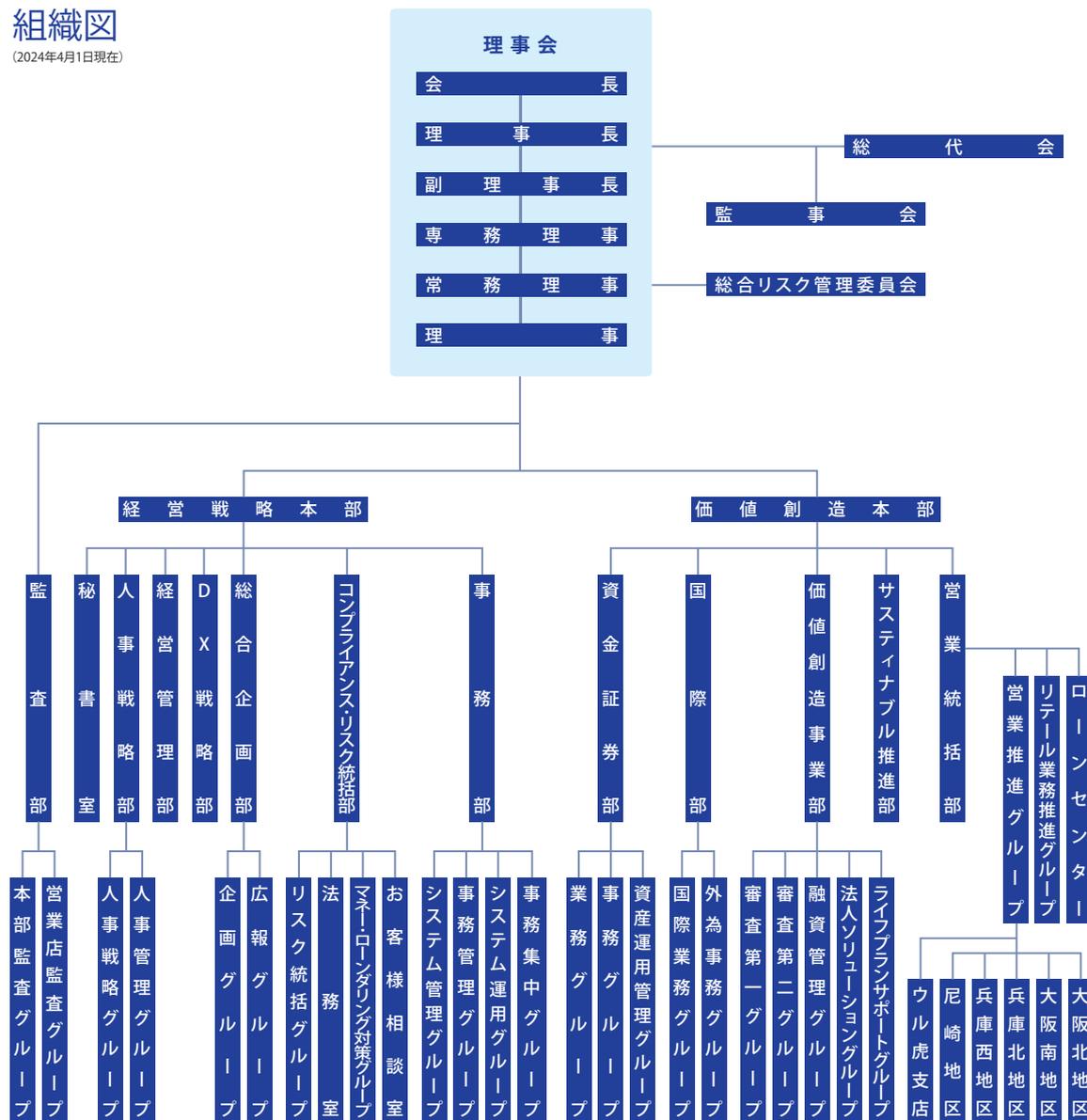
## 組織体制 組織の相互牽制機能を発揮し、内部管理態勢の強化を図っています。

### ガバナンス(経営管理)に関して

当金庫では、信用金庫法等に基づいて、理事会および監事会により、理事の職務執行の監督・監査を行っています。

#### 組織図

(2024年4月1日現在)



#### 理事会

理事会は、金庫の業務執行に関する重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督します。理事会は、法令または定款の規定のほか、理事会規程に基づいて運営されています。また内部管理態勢の有効性・適切性を確保するため、理事会直結の組織として監査部を設置しています。

#### 監事会

監事会は、員外監事(信金法第32条第5項に規定)を含む3名で構成され、法令、定款、監事会規程に基づいて運営されています。監事は、業務の適法性監査を基本とした監査を実施しています。

#### 総代会

37～38ページをご覧ください。

## 役員一覧

(2024年7月1日現在)

理事長 (代表理事)		作田 誠司
専務理事 (代表理事)	価値創造本部統括 兼 価値創造本部長	今井 康裕
専務理事 (代表理事)	経営戦略本部統括 兼 経営戦略本部長	和田 敦裕
常務理事 執行役員	事務部管轄	上野 成昭
常務理事 執行役員	コンプライアンス・リスク統括部管轄	小澤浩太郎
常務理事 執行役員	営業統括部管轄	杉森 貞之
常務理事 執行役員	資金証券部管轄	岡島 尚也
理事 執行役員	国際部管轄	小林 卓治
理事 執行役員	本店営業部長	松田 弥栄
理事 執行役員	価値創造事業部管轄 兼 価値創造事業部長	田口 裕久
理事 執行役員	監査部管轄 兼 監査部長	片岡 睦
理事 執行役員	人事戦略部管轄 兼 人事戦略部長	村田 和也
監事		西田 芳則
監事 (非常勤)		宮永 俊文
監事 (非常勤)		岩田 強

※常務理事 小澤浩太郎と岡島尚也は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

※監事 岩田強は、信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。



表紙撮影:小林哲朗

地元出身の写真家 小林哲朗氏がドローンで撮影した  
尼崎の街並み。工場や巨大建造物など独自の目線で  
捉えた小林氏の作品は下記でご覧いただけます。  
<https://www.kobateck.com>

〒660-0862 兵庫県尼崎市開明町3丁目30番地  
TEL (06) 6412-5411 (代)  
<https://www.amashin.co.jp>